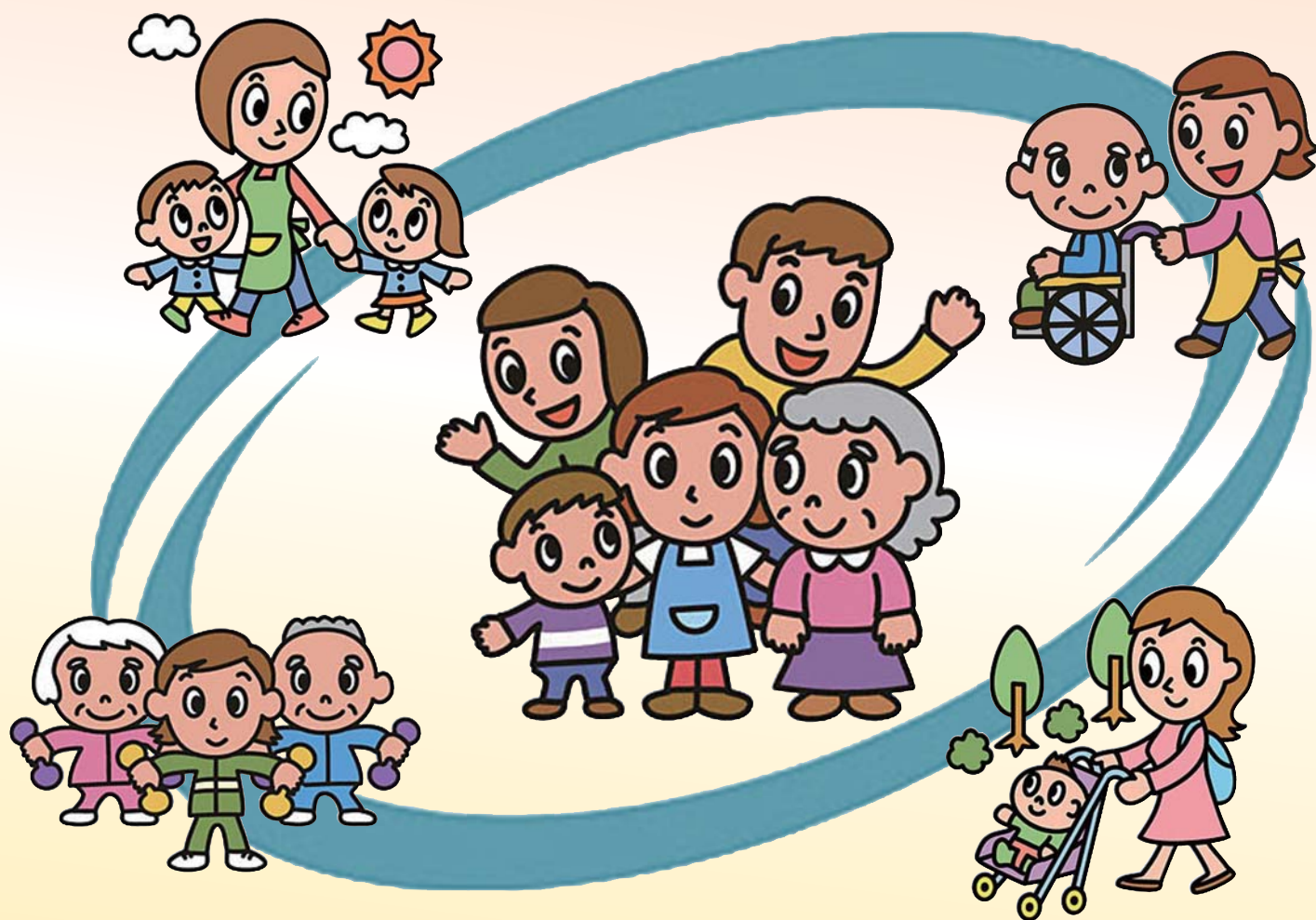


第2期

鹿屋市地域福祉活動計画

(計画期間 平成29年度～平成34年度)

～みんなでささえあい 笑顔あふれる まちづくり～



社会福祉法人

ふれあいネットワーク

鹿屋市社会福祉協議会

はじめに

鹿屋市社会福祉協議会では、「みんなでささえあい 笑顔あふれるまちづくり」を基本理念とした鹿屋市地域福祉活動計画を平成 23 年度に策定し、平成 24 年度から 5 か年計画に基づき地域福祉活動の推進に取り組んできました。この計画年度が今年度の平成 28 年度で終了しますので新たな第 2 期計画を策定するため、住民アンケート調査や住民座談会などのご意見等を踏まえ、平成 29 年度から平成 34 年度までの 6 か年計画を策定しました。



少子高齢化や核家族化の進行は著しく、地域コミュニティの弱体化や家族構造の変化により、地域での助け合い支え合い活動や相互扶助機能が希薄化し、地域が抱える課題は多様化してきています。このような現状の中で孤独・孤立死や引きこもり、経済的な困窮者など、地域における生活課題は多岐にわたってきています。鹿屋市では平成 27 年度に生活困窮者自立支援制度が創設され支援事業が推進されています。また、団塊の世代が 75 歳となる 2025 年を目途に、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる事業が進められており、社会福祉協議会もこの事業の一翼を担ってまいります。

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、これまでも地域福祉活動を始めボランティア活動の推進、高齢者、障がい者支援、子育て支援、低所得者支援、成年後見人制度事業など福祉事業の推進に取り組んでいるところです。急激な地域社会の変化に対応するためにも、今後も行政をはじめ町内会、民生委員・児童委員、社会福祉関係機関団体などと連携をさらに深め、地域に根ざした福祉活動に役職員一丸となって取り組んでまいります。

終わりに、第 2 期鹿屋市地域福祉活動計画策定にご協力賜りました関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成 29 年 3 月

社会福祉法人
鹿屋市社会福祉協議会
会 長 浜 田 保

目 次

第1章 地域福祉活動計画策定の概要

1	活動計画策定の目的	1
2	活動計画とは	2
3	活動計画の位置づけ	2
4	活動計画の構成	3
5	活動計画の期間と進行管理	3

第2章 地域福祉活動計画づくりの取り組み・現状分析

1	活動計画策定の手順及び組織体制	4
2	活動計画策定のための取り組み	7
	（1）地域福祉に関する住民アンケート調査	7
	（2）住民アンケート調査報告会及び住民座談会	8
3	地域福祉課題等の整理及び現状分析	9
	（1）住民アンケート調査結果及び住民座談会からのまとめ	9
	（2）市民からの地域福祉活動推進の提案	12
	（3）地域福祉活動の現状や課題	17

第3章 基本理念・基本目標・基本計画・実施計画

1	基本理念	19
2	基本目標	19
3	基本計画	19
4	実施計画	19
5	活動計画の体系	20

第4章 実施計画の内容

1	地域福祉活動の推進	21
	（1）日常生活支援の推進	21
	（2）福祉教育やボランティア活動の推進	26
2	広報啓発活動等の充実	28
	（1）福祉に関する情報提供や情報収集及び社協事業活動の広報	28
3	実施計画一覧	29

資料編

1	鹿屋市地域福祉活動計画策定及び評価に関する委員会設置要綱	31
2	鹿屋市地域福祉活動計画策定及び評価に関する委員会名簿	34
3	地域福祉活動計画策定に係る流れ	35
4	地域福祉活動計画策定のためのアンケート調査票	36
5	アンケート調査の結果（2016年）	46
6	第1期地域福祉活動計画の評価（平成24年度～平成27年度まで）	52

第 1 章

地域福祉活動計画策定の概要

第 1 章 地域福祉活動計画の概要

1 地域福祉活動計画策定の目的

(1) 活動計画策定の背景

我が国は、平成27年度に「生活困窮者自立支援法」「子ども・子育て関連3法」の施行と「介護保険制度」が改正され、平成28年度には、「障害者雇用促進法」「障害者差別解消法」が施行されるなど福祉施策が大きく変革してきています。

一方、鹿屋市においても急速な少子・高齢化の進行、人口構造や家族形態の変化に伴い、家族機能の脆弱化、人間関係が希薄化してきています。また、最近の経済情勢や雇用形態の変化により貧困や社会的孤立などの状況も加わり、生活課題は一段と深刻さを増している状況にあります。

このような中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、現在制度化されている福祉サービスの更なる充実とともに、地域住民が地域の福祉課題を共有し、その解決に向けて主体的に参加・参画し話し合い、地域福祉活動の推進が更に重要となっています。

(2) 鹿屋市社会福祉協議会の地域福祉活動計画策定

社会福祉法人鹿屋市社会福祉協議会（以下「社協」という。）は地域住民やボランティア、関係行政機関や各種団体等の協力を得て、福祉のまちづくりを目指す民間の組織です。

これまでも、高齢者や障がい者支援事業、子育て支援事業、ボランティアセンター事業、権利擁護推進事業、市民の悩みごと総合相談事業など社協の特性を生かした活動、また地域に密着した福祉サービスの提供に取り組み、地域福祉の充実推進に努めてきました。そこで社協では、地域福祉活動推進が最も重要な施策として平成24年度から平成28年度までの5年間の「第1期鹿屋市地域福祉活動計画」を策定し、地域福祉の向上を図ってまいりました。今回も「みんなでささえあい笑顔あふれるまちづくり」を目指し、地域福祉活動を計画的に進めていくための「第2期鹿屋市地域福祉活動計画」を策定します。

2 活動計画とは

「地域福祉活動計画」とは、地域住民が抱える生活課題や福祉ニーズの把握から問題解決までの一貫した流れを計画化したものであり、社会福祉協議会が呼びかけて策定する地域福祉活動の推進を目的として、地域住民とともに実行に移す民間の活動計画です。そして、その大きな特徴は、地域住民が主体となって取り組んでいく地域福祉活動の具体的な内容を定める計画です。

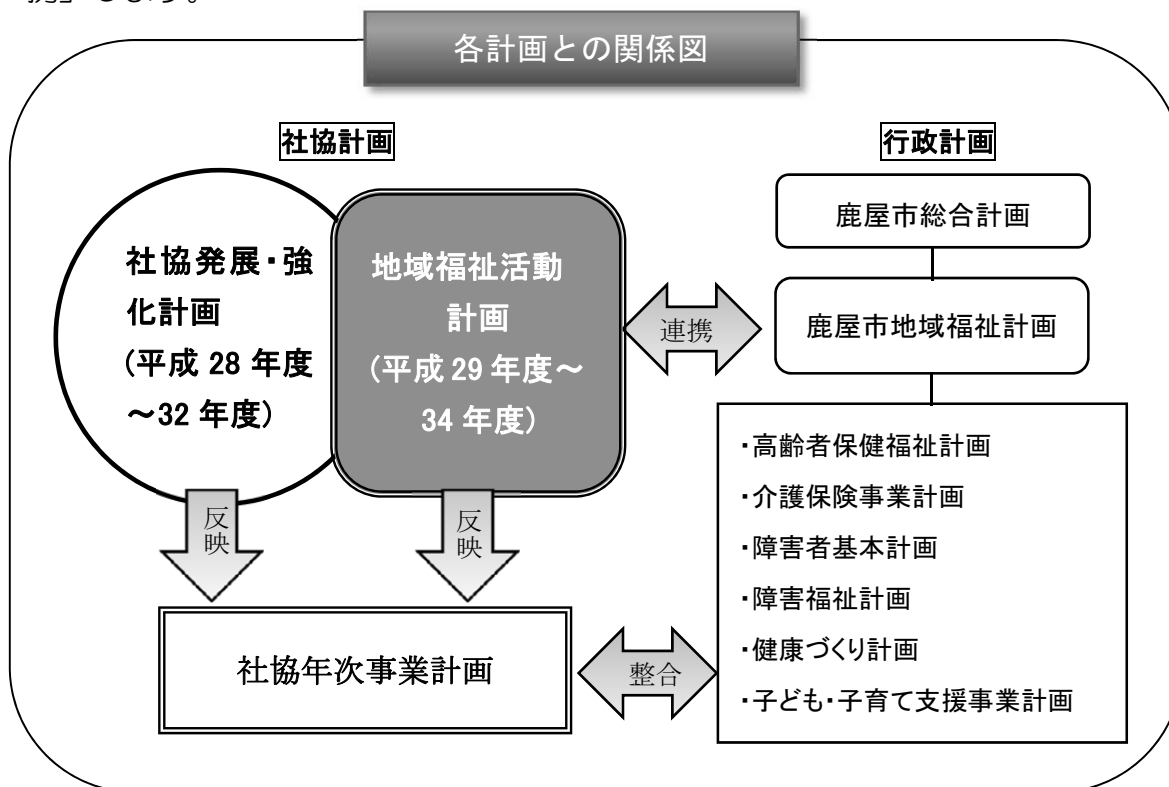
3 活動計画の位置づけ

この計画は、地域住民や民間団体による自主的な地域福祉活動をより具体的に進めるため、地域住民、民間団体の協働による福祉のまちづくりの「活動計画（アクションプラン）」となっています。

また、鹿屋市では、平成25年3月に「鹿屋市地域福祉計画」を策定しています。

この計画と「鹿屋市地域福祉計画」は、協働の関係にあり、相互に補完し合いながら計画を一体的に推進し地域福祉の向上を目指すものです。

計画推進にあたっては、「鹿屋市社会福祉協議会発展・強化計画」との整合性を図り、「鹿屋市地域福祉計画」をはじめとした鹿屋市の福祉関連計画と連携」します。



4 活動計画の構成

この活動計画は、基本理念、基本目標、基本計画そして実施計画の4つの領域から構成しています。

活動計画は、『みんなでささえあい 笑顔あふれる まちづくり』を基本理念として設定し、それを実現するために、3つの基本目標を掲げました。

さらに、3つの基本目標には、基本計画と実施計画を示しています。

5 活動計画の期間と進行管理

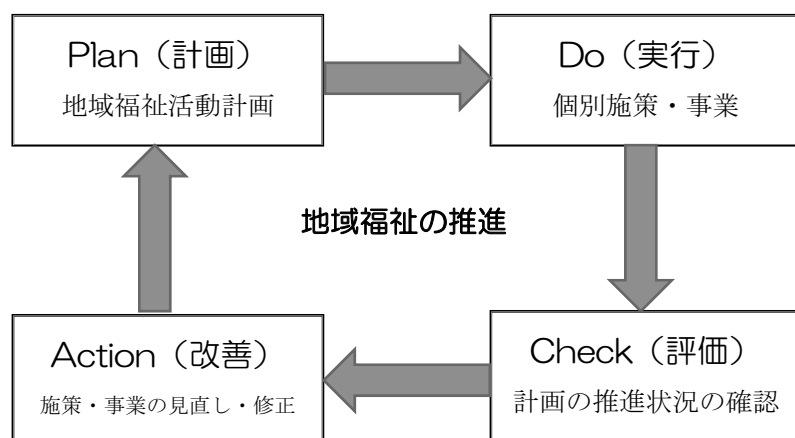
この活動計画は、鹿屋市が策定した地域福祉計画と整合性を図るため、平成29年度から平成34年度までの6か年計画とします。

活動計画の進行管理につきましては、住民関係団体の代表や福祉関係団体等の代表、行政や学識経験者により構成する「地域福祉活動計画策定及び評価に関する委員会」において、毎年度進捗状況を評価し、地域の状況・社会情勢の変化や評価により明らかになった問題点があった場合、改善を図るため計画の実施途中で見直しを行います。

◇計画期間

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
鹿屋市地域福祉活動計画					

◇計画の進行管理におけるPDCAサイクルのイメージ



第2章

地域福祉活動計画づくりの取り組み・現状分析

第2章 地域福祉活動計画づくりの取り組み、現状分析

1 活動計画策定の手順及び組織体制

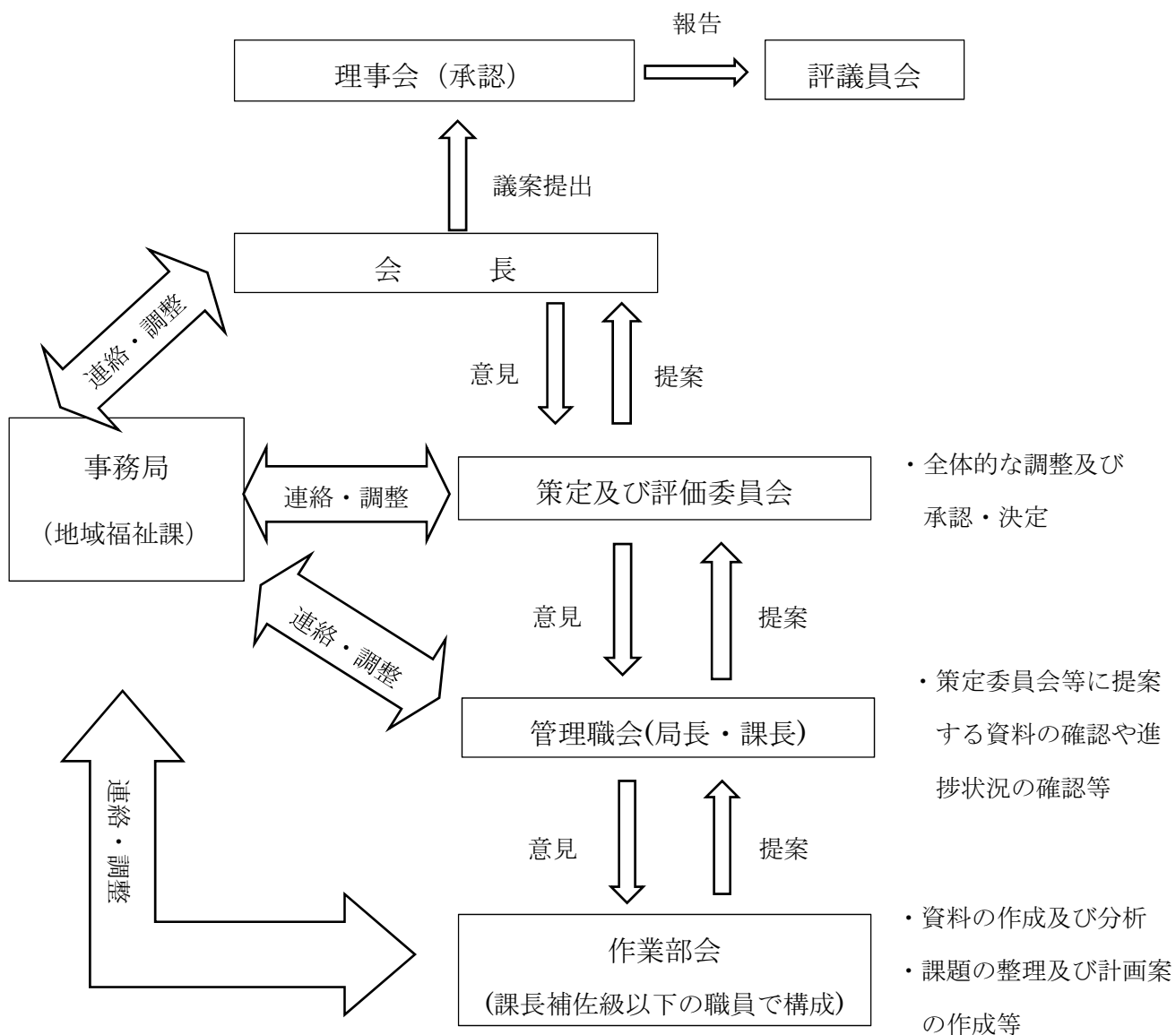
地域福祉活動計画の策定に当たっては、行政をはじめ、地域住民の代表や社会福祉の関係事業者及び社会福祉等に関する活動を行う者、学識経験者等からなる「地域福祉活動計画策定及び評価に関する委員会（以下「策定及び評価委員会」という。）」を設けて合意形成を図り、様々な福祉課題や住民からのニーズ把握など総合的、具体的に検討を行いました。

策定までの課程におきましては、第1期鹿屋市地域福祉活動計画を行政関係者、町内会や各福祉団体の代表者、学識経験者などからなる「地域福祉活動計画評価委員会（以下「評価委員会」という。）」を開催し、毎年度の目標達成や事業の進捗状況・成果など評価委員会の助言を得ながら具体的に評価・分析を行ってまいりました。この評価・分析を踏まえ第2期鹿屋市地域福祉活動計画に反映させることに努めたところです。また、地域福祉の推進を目的とした鹿屋市地域福祉計画と互いに補完し合いながら地域福祉活動を推進します。

また地域福祉活動計画の策定にあたり、地域住民へのアンケート調査やアンケート調査報告会及び住民座談会、常日頃から福祉団体の意見を聴取し、まとめて福祉課題の把握を行いました。

策定及び評価委員会で作成された計画案は、鹿屋市社会福祉協議会会長に答申され、鹿屋市社会福祉協議会理事会で承認ののち評議員会の報告を経て地域福祉活動計画として策定されました。策定後はこの地域福祉活動計画を地域住民に周知し、計画に基づいて地域福祉活動を推進します。

(1) フローチャート

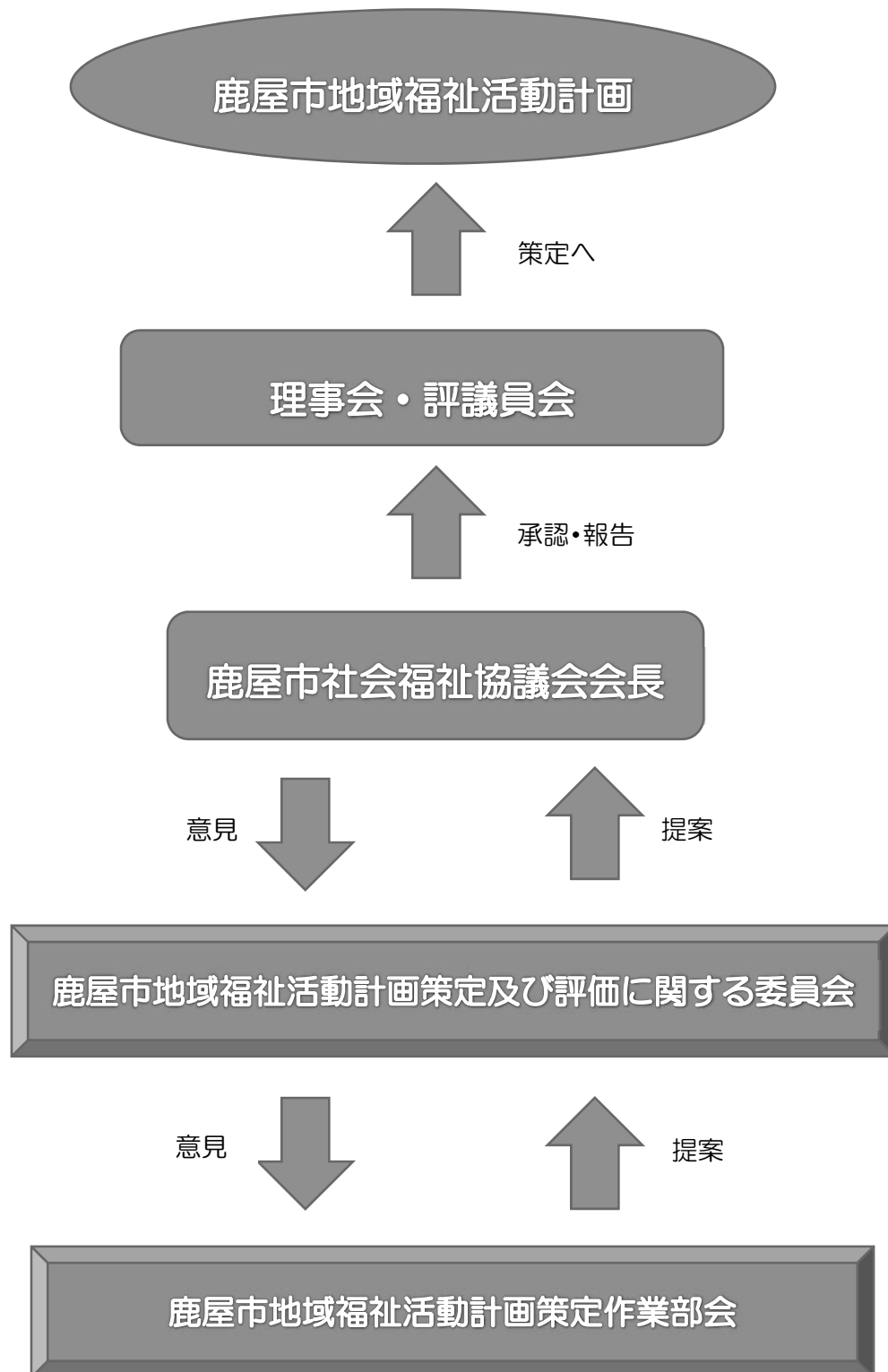


【作業部会の役割】

- ・既存資料の収集・分析や調査活動の企画，実施，その分析，その他活動計画策定に必要な資料作り等
- ・基本計画骨子及び実施計画(素案)の作成や活動計画書原案の作成

※基本理念，基本目標，基本計画及び実施計画等も全員により協議する。

(2) 組織体制



2 活動計画策定のための取り組み

この活動計画を策定するにあたり、できるだけ多くの市民の意見を反映できるように、地域における生活課題や福祉ニーズを把握し、実効性のある内容とするため、平成28年5月から6月にかけて住民アンケート調査を実施しました。

(1) 地域福祉に関する住民アンケート調査

市民の地域福祉に関する意識を調査し、第2期地域福祉活動計画策定の基礎資料とするため、鹿屋市内に居住する20歳以上の市民を対象に、地域住民の生活実態や日常生活に関する現状や課題を明らかにすることを目的に住民アンケート調査を実施しました。

◆調査内容

地域住民の生活課題や地域の生活環境に対する評価、子育て支援についての考え方、ボランティア活動についての関心、社協の認知及び活動に関する意見や意向など

◆調査対象

鹿屋市に在住する20歳以上の市民

◆調査件数

3,000件

◆調査の実施方法

市内に住所を有し、20歳以上の方から3,000人を無作為に抽出し、その調査対象者へ郵送による配布、回収を行いました。

◆有効回答件数

1,147件 38.2%

(2) 住民アンケート調査報告会及び住民座談会

住民アンケート調査結果報告するとともに、地域の生活課題や福祉ニーズについてお互いに意見を出し合い理解することを目的に、住民座談会を実施しました。

◆内容

住民アンケート調査結果の報告及び意見交換

◆実施状況

①住民アンケート調査報告会

平成 28 年 10 月 31 日（月）

リナシティかのや アトリエ絵画室 参加者 22 名

②住民アンケート調査報告及び住民座談会

平成 28 年 12 月 8 日（木）

リナシティかのや 情報研修室 参加者 70 名



アンケート調査報告会及び住民座談会



アンケート調査報告会及び住民座談会

3 地域福祉課題等の整理及び現状分析

(1) 住民アンケート調査結果及び座談会からのまとめ

① 住民の定住意識

定住意識は、若年層に薄い傾向があり、移りたい理由としては、交通や生活面で不便さ、施設お店がないことが大きな理由として挙げられている。環境衛生面の言及もある。

② 社会的孤立関連

若者層の近所づきあいは希薄、一人暮らし世帯も近所づきあいは薄い。
友人数は、若年層と中年層でゼロが2割を越えている。
頼れる人がいないは、一人暮らし世帯が5.5%で多い。
会話の程度では、女性より男性が少なく、また一人暮らし世帯が少ない。
外出頻度は、高齢になると少なくなる。

③ 生活上の不安

「収入が少ない」ことが最も多い。ついで「これからの人生に不安がある」や「災害時の対応」も8割を超え不安が大きい。

「社会の仕組みがわかりにくい」について若者が最も多く言及していた点は興味深い。

もともと高齢者の反応を意図した質問だが、町内会活動やこれまでの伝統的な文化に対しても若者は理解できていないことなどが含まれるのかもしれない。

④ 交通手段と買い物

買い物は、自分の運転する車でとする者が、85.3%と多く、高齢者でも73.0%がそう答えている。これは他の市町村が5割程度であるのと比較しても高い数値である。

またバスを交通手段に選んだ高齢者は、4.5%と大変低い。買い物の困りごとでは「場所が遠い」が一番多く、買い物サービスでは、「宅配サービス」「移動販売車」「買い物バス」の利用希望者が3割程度あり、その中で「移動販売車」利用希望が一番多い。

⑤ 子育て支援

子育ての不安や悩みでは「子育てにかかる金銭的負担」が73.9%と他をぬきんでとても高く、「子育ての方法やしつけ」「仕事との両立」が共に3割を超えている。

また、緊急時等子どもの面倒をみってくれる人がいるかという質問では8.5%がいないと答えている。行政への要望も経済的支援が一番である。

⑥ 生活環境評価

生活環境評価では、「体の不自由な人が生活する環境」が最も低い評価でありながら、今後力を入れていくべき項目では、これは8番目となっている。当事者意識の欠如であろうか。

⑦ 生活満足度と経済的暮らし向き

若年層と中年層の生活満足度がやや低い大きな差ではない。

⑧ 災害対応

若者層の避難所の認知は、34.4%であり、逆に知らないが特出して6割を超えている。これも「社会の仕組みがわかりにくい」の1つかもしいない。また、避難に手助けが必要な方のうち、22.4%は「いない」と答えている。

⑨ 町内会活動とボランティア活動

地区行事活動への若者の参加が大変低い。また、一人暮らし世帯も低い傾向にある。

町内会加入率は若者層では54.6%と低いが、未加入者でも「加入したい」「誘われれば加入する」が2割を越えており、自由回答でも「入り方がわからない」という者もいる。情報提供等の仕方によって加入率はあがるだろう。

ボランティアに関しては、「大いにやりたい」「やってもいい」が5割程度の市民が答えていて、潜在的なマンパワー大きい。一方、「自分にあった活動の場がない」「一緒にやる仲間がいない」「何から始めるか、きっかけがつかめない」などの意見も多く、情報提供やきっかけを与えることで、参加率があがる可能性がある。

⑩ 社協事業の認知

社協そのものの認知度は2011年の調査よりあがっている。個々の事業については、認知度の上下はあるが、上がったものの方が多い。また旧来型の事業の認知度が落ちているようである。

⑪ 社協への期待

あらためて社協活動の幅の広さに驚く市民も多いが、共通に事業の広報啓発を求めている。

⑫ 地域福祉推進の提案

地域福祉の提案としては、行政批判を含む、実に様々な要望等が含まれている。地域福祉は単に行政にお願いをするだけのものではないが、意見の中では、高齢者が子育て支援に積極的に取り組むなどの提案も見られる。個々の意見を相互に見比べることで何かのアイデアが生まれるかもしれない。



子育てサロン



つどいの広場



ファミリー・サポートセンター

(2) 市民からの地域福祉活動推進の提案

①子ども子育て支援

- ア. 子どもがいると買い物に行くのが大変なので、預けられるところがあれば助かります。
- イ. 小さい子どもを連れて安心して遊べる場所をつくる。同年代の子を持つ親同士、子同士が仲良くなれるようなイベントを開催してほしい。
- ウ. 若い主婦は家に子どもと 2 人こもりがちで、お母さん達もストレスを抱えています。高齢者とのふれあいでいろいろと話とかが聞けそうではないと思います。(→高齢者が子育ての相談にのる)
- エ. 就学しているお子様がいる保護者にも、悩み相談や保護者同士が遊べるような活動があるといいのにと感じることがあります。
- オ. 町内会に入っていないので、広報も来ないし防災無線もないので、情報が入らない。多少有料でもいいので防災無線毎日の広報など欲しい。電話もガラケーなので手に入る情報が少ない。
- カ. 高齢者の方々の昔のいろいろな知識を、若い人達に教えてもらえる場所や自由にいつでもいける所がほしいです。

②高齢者支援

- ア. ひとり暮らし高齢者の方が医療機関を受診の際、交通の便が少なく、とても不便をしいられていらっしゃると思う事があります。
- イ. くるりんバスは、比較的市内に住んでいる方のみ利用になっているので、中心地より遠く、交通の便、スーパーなどが遠い地域などに福祉バスを走らせ、お年寄りがもっと外出できる様にしてほしい。
- ウ. 高齢になっても車の運転ができなければ買い物にも行けない現状です。何とかしてほしいものです。
- エ. ひとり暮らし高齢者宅への週ぎめの訪問や、年金暮らしの人が多と思うので、その方々への安い食事の提供を望みます。
- オ. 親の面倒をみている家族へ役所等（県、国）が、その家族に補助金を多少なりとも援助していただければ、親は自分の家で生活する事ができ、一生涯を楽しく過せると思います。
- カ. まわりに高齢者が多く、運転の危ない人が多いため、交通手段を増やし、高齢者の方が自分で運転しなくてもいい環境を作って欲しい。

キ. 65 歳以上の元気な方が、もっと活動できる場を広げて欲しい。

③障がい者支援

- ア. 発達支援を必要とする児童へのサービスの拡充、また、理解を深めるための講演やセミナーの開催。発達障がい、学習障がいなどの子どもが増えているのに、まだまだ・・・な部分が多い。
- イ. 地域の福祉については、市役所会議室またはその集落の公民館等で、市民(障がい者、一般を含め)に対して、講演会等を行って下さることを希望いたします。
- ウ. 障がい者宅を訪問したり、直接話を聞くなど、現在の状況を把握して幅広く行ってほしい。

④地域福祉活動

- ア. 声掛けにより安心感を育てる。ふれあいネットワークの充実。
- イ. 隣近所、気軽に話し掛けるあいさつ運動。互いに困っていることを話し合い調整していく事でネットワークは広がるのでは(需要と供給)
- ウ. 町内会加入している65歳以上の方が、どの家に住んでいて、どのような介護サービスを利用しているのかを知ることが出来れば、周りの見守り体制を作ったり、手助け出来たりするのではないかと思います。
- エ. 専門の人ばかりでなく、地域や自治会で運動するように指導願います。
ひとり暮らし高齢者や高齢者家庭に緊急な事が起きた時、ブザーを押すだけで福祉の方に連絡できるシステムがあればいいと思います。
- オ. 単独世帯の高齢者が居るという情報を福祉の職員が近隣住民に周知することで、災害時の声かけだけでなく、日常の中でも協力できると思う。
- カ. 高齢者は少し手前の高齢者で少しの報酬で、まかないながら高齢者を見てもらう。

⑤ボランティア活動

- ア. 地域住民や福祉関係者がお互いに協力し合い、ボランティア活動や高齢者に対する福祉サービスの充実の実現を行い、よりよい町づくりを目指す。
- イ. ボランティア活動の量と質、また、ボランティア活動を受けいれる量と質を把握することが重要ではないでしょうか？また、町内会、高齢

者クラブ組織の活動促進が期待されます。地域全体で見守るということが肝要ではないでしょうか？

- ウ. 小学校・中学校で、もっとボランティアに参加されるなどしたらもう少し興味が出るかもしれないですね。
- エ. 簡単にボランティアと言っても、高齢者に何かしてあげると金銭をお礼されると困る。困っている人を手助けする事業をされている方にもっと力を入れられる様に補助する方が良いと思います。
- オ. 市が現状把握をして、地域が一体となり取り組む。
- カ. 国が学生などに対して、年金や地域福祉制度などに関して、授業を数時間取り学ばせることができれば、もう少し理解がある社会になるのかなと思いました。
- キ. 後期高齢者の一人暮らしで、ゴミ出しの不自由な声を聞くようになりました。町内会で取り組むには難しく、行政なり福祉事業等なりで検討していただきたいものです。

⑥広報活動

- ア. 地域福祉事業について、まだ詳しく地域の方に知られてない事が沢山ありますので、機会あるごとに宣伝してほしいです。
- イ. 福祉関係の情報も提供されていると思うのですが、なかなか届いて来ないので、知らない事業が数多くあると知りました。わかりやすく、こういう場合は、このような支援が利用できますよと、お示し頂きたいと思います。
- ウ. 市民に対してアピールし、活発な事業展開を行わないと税金のむだ使いである。
- エ. 利用方法や利用手続き等周知されていないと思う。実際、自分もわからない。もう少し利用しやすく周知徹底してほしい。
- オ. どのような活動を行っているかが若い世代には認識されていないと思います。
- カ. 地区ごとの各自治会等で年度末に総会を実施している。出席して地域福祉活動の内容を具体的に話をしてほしい。
- キ. 自分達で調べて申請しないと何も教えてくれない現状をもっとわかりやすく、だれでもサポートが受けられるようにしてほしい。
- ク. 「ホームページをご覧ください」では何も知ることは出来ません。公報の

充実と講演会等多く取り入れて頂ければと要望します。

⑦キーマンを作る

- ア. 高齢者が増えていく中で、直接相談できなかつたり、口に出来なかつたりと困っている方々がいると思う。行政ともう少し連携して、65歳以上の世帯や個人の見守りを深め、サービス手続き等の推進を行ってもらいたい。
- イ. 大阪のある社協の女性の方は、地域の人々も巻き込んで子育てで困っている人や病気や障がい等で困っている人を、「おせっかい」なやり方で手助けしておられました。これから先私らも含めて増えるような気がします。良い意味での「おせっかい」をこの地域でもできたら良いと思います。
- ウ. 民生委員を増やし、地域の人で困っている人がいないか定期的に巡回する。電話だけでなく、葉書きなどを活用し、申し出をしやすいような配慮をする。
- エ. ひとり暮らし高齢者世帯等を細めに訪問・モニタリング出来るケースワーカー、民生委員等の人々を増やして行く事が重要ではないかな。
- オ. 地域福祉のリーダー育成を行い、各町内に居ますと誰れでも分かるように。意見があっても誰に連絡や相談をしていいものか分からない。

⑧災害時の対応

- ア. 災害などがあつた時、近所の人とも助け合えるように地域との交流を大切にしたいが、転勤で鹿屋に来てまわりの人もあまりしらないので、どうしていいのかわからない。
- イ. 市役所→防災マップ作成配布

⑨その他

- ア. 鹿屋市の福祉活動であることを、このアンケートで拝見して、初めて知り得た情報も多々ありました。職員（市）の給料を下げても福祉とか養育支援に充てるべきだと思います。
- イ. 社会福祉協議会が中心となり、公民館、学習センター、廃校などフルに利用し、健康のための話、体操、食、他レクレーション等年間を通し行い、送迎も含め、楽しみを作ってあげ、他人との交友を深めるような、地域となって欲しいです。目に見える活動が今これからは大切

と考えます。

- ウ. 10年後, 20年後に要となる若者が住みやすい定着できる, 街づくりをもっと考えてほしい。
- エ. 若者が「地元から出たくない」「また戻ってきたい」と思わせることが大事だと思います。
- オ. 義務を果たさずに, 権利だけを主張することが許される風潮に問題があるふうに感じます。条例の制定や, 弱者に対するセーフティーネット, 集客施設などのハード面の強化が重要と思います。行政が強気で対策を断行しなければ, 手遅れになると思っています。
- カ. 誰でも持ち寄れる色々な物・食事までできるような所を作って欲しいです。高齢者も若い人達も楽しんで, 一日過ごせる憩いの広場をお願いしたいです。
- キ. 町内会に加入していなければ一切情報も入ってこないし, 市報も配布されないので, 全く分からない事ばかりです。加入しなければ配布なし。どこかに自ら出向かなければ入手できないなら必要性も疑われます。
- ク. 包括支援センターとの連携が, 誰がどのようにされているのか知りたい。



支え合いマップづくり



ふれあいネットワーク活動（見守り・声かけ活動）

☆アンケート調査票作成及び分析・評価について☆

委 託 先 鹿児島国際大学附置地域総合研究所 高橋 信行 教授

委託期間 平成28年4月～平成29年3月まで

(3) 地域福祉活動の現状や課題

課題 1 日常生活支援の必要性

少子高齢化や核家族化の進行，ひとり暮らし世帯や認知症高齢者の増加，地域社会の変容や家族機能の低下などにより，地域の「つながり」や「ささえあい」の相互扶助の精神が希薄化している状況にあります。

本市においても少子高齢化が進行し，ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者も年々増加しています。また高齢化率 50%以上の町内会が十数か所あり，孤独・孤立死や徘徊などの課題があります。これらの課題を解決するためにも，引き続きふれあい・いきいきサロン活動やふれあいネットワーク活動等を進める必要があります。また，近年の社会経済や生活環境の変化に伴い，生活困窮者に対する相談支援や交通弱者等に対する買い物支援等を推進する必要もあります。

課題 2 子育て世帯に対する支援の必要性

核家族化の進行や地域とのつながりの希薄化等に伴い，子育てに対する不安や悩みが増加し，身近に話し相手がない，子どもの遊び場がない，子育ての方法や金銭的な不安等の相談も寄せられています。これらを解決するための子育て世帯に対する支援の一つとして，各地域において安心して子どもを育てられる親子の交流の場の提供や子育て関係者，各種団体による支援のネットワーク等と連携していく必要があります。

課題 3 災害時の支援活動の必要性

近年多発している，台風や集中豪雨，地震による大きな自然災害によって，地域で住民同士のつながりの必要性が改めて問われるようになってきています。

災害時において，「避難所が分からない」「避難するのに手助けが必要」などの声も多く，高齢者や障がい者等の要援護者支援も行政や関係機関と連携し，ふれあいネットワーク活動を進める中で，災害支援の体制づくりを進める必要があります。

課題4 ボランティア活動の必要性

ボランティア活動は、近年全般的に関心が高まってきている中で、東日本大震災を始め、平成 28 年度に発生した熊本地震や台風 16 号被害でもわかるように、多くの市民がボランティア活動の実践や興味・関心を持っていることが伺えます。しかし、一方ではボランティア活動を希望しているが、最初の一歩を踏み出せない市民も多く、ボランティアセンターの周知や情報提供等の広報啓発活動を進め、きっかけづくりを支援していく必要があります。また、今後も引き続き市民誰もが気軽にボランティア活動に参加できる環境整備を進める必要があります。

課題5 必要な福祉情報提供の必要性

社協が取り組んでいる事業や活動の内容について、2011 年の調査よりは認知度は上がっているものの、まだまだ十分ではありません。

今後も、社協広報紙の発行、ホームページの更新等による情報発信、新聞やFMかのやの活用など、市民の生活に即した有益な情報を適宜、提供できるよう尚一層広報活動を強化していく必要があります。

このように、住民アンケート調査や住民座談会の等意見を5つの課題に対して、これから進める地域福祉活動の基本的な枠組みとして次のとおり活動計画を設定しました。



ふれあいネットワーク連絡会開催



ふれあい・いきいきサロン交流会

第3章

基本理念・基本目標・基本計画・実施計画

第3章 基本理念・基本目標・基本計画・実施計画

1 基本理念

みんなでささえあい 笑顔あふれる まちづくり

この基本理念は、鹿屋市民だれもが、住民同士の「つながり」を再確認しながら、互いに支え合い、住み慣れた地域で自立し、笑顔で安心して生活できる地域づくりをめざしたものです。

そのためには、市民一人ひとりが、日頃からともに支え合う仕組みづくりを地域のなかで主体的に築いていくことが必要です。

社協では、こうした地域社会を再構築していくため、「みんなでささえあい 笑顔あふれるまちづくり」を基本理念として、「地域福祉活動計画」を推進します。

2 基本目標

基本目標は、地域福祉活動のねらい、性格、基本的な視点を示したもので、次の3つの基本目標を定め、必要な事業や活動を展開していきます。

- ・ささえあいの輪を広げるまちづくり
- ・思いやりの心を育むまちづくり
- ・人と人をつなげるまちづくり

3 基本計画

基本計画は、基本目標を達成していくために取り組むべき事業や活動を体系的に整理したものです。

基本計画Ⅰ 地域福祉活動の推進

(1)日常生活支援の推進

地域住民がお互いに協力し合い、地域ぐるみで支え合う仕組みづくり推進します。また、総合的な相談体制の充実に努めます。

(2)福祉教育やボランティア活動の推進

人や地域を思いやる「福祉の心」の醸成を図り、福祉に対する理解と関心を深め、ボランティア活動の推進やその環境づくりに努めます。

基本計画Ⅱ 広報啓発活動等の充実

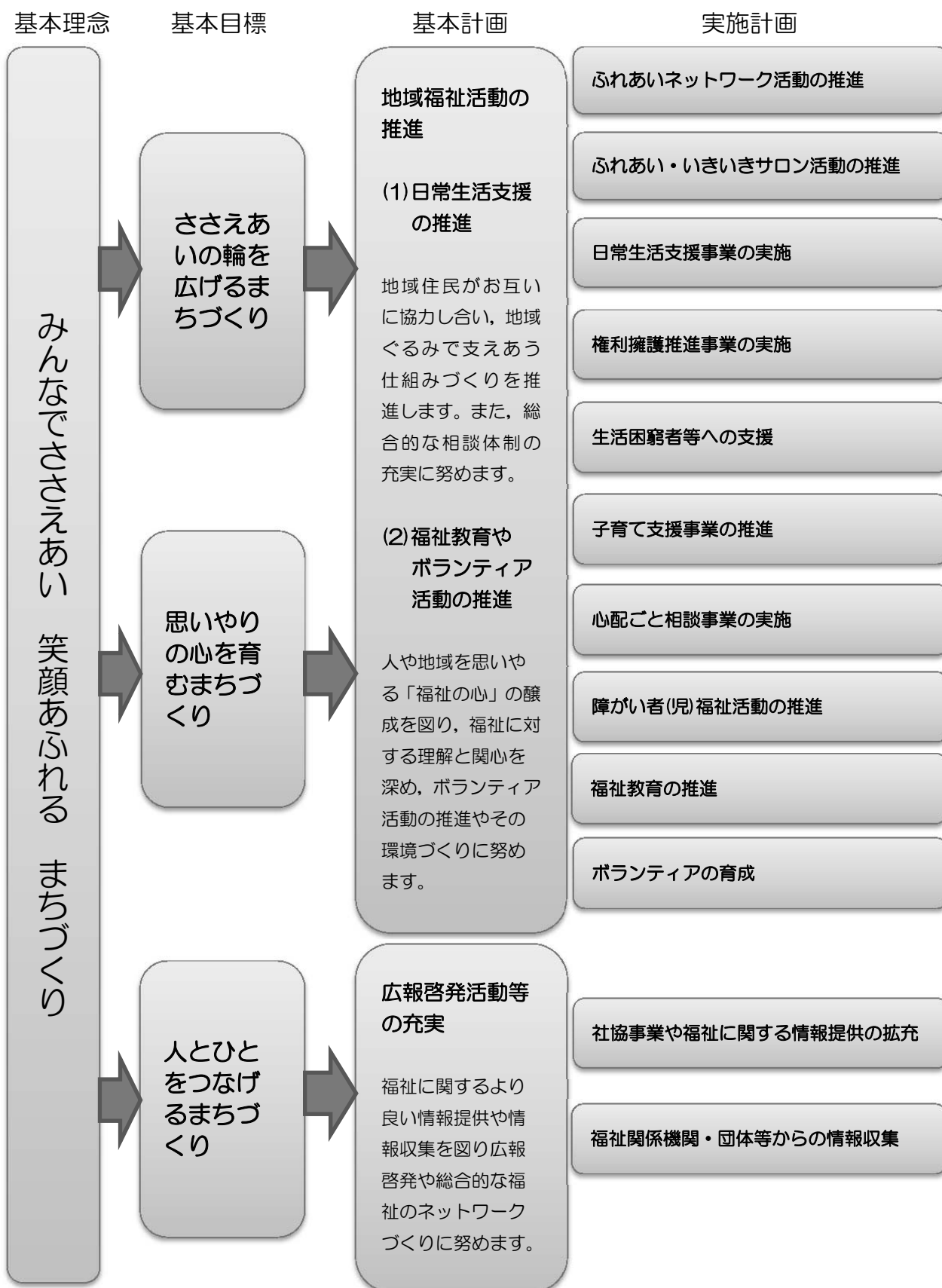
福祉に関するより良い情報提供や情報収集を図り、広報啓発や総合的な福祉のネットワークづくりに努めます。

4 実施計画

実施計画は、基本計画を具体的に実施していくためのものであり、その内容は、基本計画に沿った計画立てとなっています。

5 活動計画の体系

基本理念から実施計画を体系にまとめたものが、下図のとおりとなります。



第4章

実施計画の内容

第4章 実施計画の内容

1 地域福祉活動の推進

(1) 日常生活支援の推進

住み慣れた地域で、誰もが安心して日常生活が送れるよう各関係機関・団体と連携し、生活支援の仕組みづくりを進めます。

① ふれあいネットワーク活動の推進

地域住民との話し合いを重ねながら、見守りや声かけ活動、地域の生活課題に応じた助け合い活動などの実践活動の推進を図ります。

事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
ふれあいネットワーク活動の推進	継続 拡充					
			見直し			
研修会等の開催	継続 充実					
			見直し			
関係機関・団体との連携	継続 充実					

【具体的な取り組み】

- ・地域ぐるみで支えあう仕組みづくりについて協議・検討し、地域住民による見守りや声かけ活動及び地域のニーズに応じた助け合い活動などの実践活動を推進します。
- ・活動に取り組んでいる地域関係者を対象に研修会等を開催し、相互の意見交換等を通じて事業の支援や活性化を図ります。
- ・関係機関や団体と連携し、継続的な活動となるよう支援します。

② ふれあい・いきいきサロン活動の推進

住み慣れた地域において、見守りやサロン活動などに関心を持ってもらい、市内全域に広がっていくよう、ふれあい・いきいきサロン活動を推進します。

事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
ふれあい・いきいきサロン活動の推進	継続 拡充					
			見直し			
講習会や研修会の開催等	継続 充実					
			見直し			

【具体的な取り組み】

- ・サロンの立ち上げの未設置地域に対し、積極的にその立ち上げを推進します。
- ・活動に取り組んでいる地域からのあらゆる相談に応じ、より良い情報提供や助言に努め、関係機関・団体と連携を図りながら、継続的な活動となるよう支援します。
- ・「ふれあい・いきいきサロン交流会」の開催や各種研修等への参加を支援します。

③ 日常生活支援事業の実施

生活支援や介護予防サービスの提供体制の構築に向け、資源開発やネットワーク構築の基盤整備を進めます。

事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
日常生活支援事業の実施	継続 拡充					
			見直し			
地域包括ケアシステムの推進	実施	継続				
協議体の設置やネットワークの構築	実施	継続				
			見直し			
サービス調整や資源の開発	実施	継続				
			見直し			
セミナー等の開催	継続 充実					
			見直し			

【具体的な取り組み】

- ・各種関係機関・団体等と連携・協力し、買い物支援等の生活支援の充実を図ります。
- ・鹿屋市及び鹿屋市医師会並びに各関係機関・団体等と連携・協力し、地域包括ケアシステムの推進に努める。
- ・地域の実態やニーズ把握を行い、各関係機関や団体と連携し、必要とされるサービスの調整や資源の開発を行います。
- ・地域住民を主体とした協議体を設置し、ネットワークの構築に努めます。
- ・地域福祉活動推進のためのセミナーの開催等を行います。

④ 権利擁護推進事業の実施

成年後見制度や福祉サービス利用支援事業により、権利擁護に関する一体的・総合的な支援を実施します。

事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
法人後見事業の実施	継続 拡充					
			見直し			
福祉サービス利用支援事業の実施	継続 拡充					
			見直し			

【具体的な取り組み】

- ・家庭裁判所の受任により、認知症や知的障がい、精神障がい等によって、物事を判断する能力が十分でない方々の権利が守られるよう、法人後見事業を実施します。
- ・高齢者や障がい者で自らの判断能力に不安のある方で、福祉サービスの利用の手続きや日常生活の金銭の支払い等にお困りの方を支援いたします。
- ・県社協や各関係機関・団体等と連携を図り、事業の普及促進を図ります。

⑤ 生活困窮者等への支援

様々な理由で生活困窮に陥った方へ、各関係機関と連携を図りながら、自立につながるよう支援を行います。

事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
生活困窮者等への支援	継続 拡充					
			見直し			
各種企業や団体等との連携	新規 実施	継続				
			見直し			

【具体的な取り組み】

- ・生活福祉資金貸付制度の窓口として相談、申請の支援を行います。
- ・鹿屋市生活福祉資金小口資金貸付事業を実施します。
- ・法外援護事業を実施します。
- ・各種団体や企業と連携し、食料提供するなど自立を支援します。
- ・鹿屋市自立相談支援機関や県社協と連携し市民の自立した生活の支援を行います。

⑥ 子育て支援事業の推進

地域で安心して子育てができる仕組みづくりや社会資源づくりを進めます。

事業名	29 年 度	30 年 度	31 年 度	32 年 度	33 年 度	34 年 度
つどいの広場の実施	継 続 充 実					
			見直し			
ファミリー・サポ- ト・センターの実施	継 続 充 実					
			見直し			
子育てに関する調査及 び企画	検 討	実 施	企画検討	実 施		
子育てサロンの実施	継 続 充 実					
			見直し			

【具体的な取り組み】

- ・子育て中の親や子育て団体・関係機関等に調査を行い、地域のニーズ把握に努めます。
- ・子育てに役立つ講習会やイベント等を実施いたします。
- ・子育てサロン活動の立ち上げや支援に努めます。
- ・ファミリー・サポート・センター事業を実施します。
(利用会員とサポート会員による相互援助で支える子育て支援事業)
- ・つどいの広場「りな」事業を実施します。
(乳幼児をもつ親とその子どもが気軽に集える場を提供する子育て支援事業)

⑦ 心配ごと相談事業の実施

市民の様々な生活上の問題に対して相談に応じ、専門機関等への橋渡しや福祉サービス等の情報を提供し、問題解決へ適切に支援します。

事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
心配ごと相談事業の実施	継続 充実					
			見直し			

【具体的な取り組み】

- ・リナシティかのや内福祉プラザに設置している心配ごと相談所の周知を図ります。
- ・市内の各種相談所と連携を図り、相談所の機能充実に努めます。

⑧ 障がい者(児)福祉への支援

障がいのある方が地域の中で、自分らしく生きがいのある生活が送れるよう、障害者居宅介護事業等の実施や関係機関・団体との連携により支援します。

事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
障がい者(児)への支援	継続 充実	→ 見直し				
障害者居宅介護事業等の実施	継続 充実	→ 見直し				

【具体的な取り組み】

- ・障がい者(児)の地域生活や社会参加を支援する手話・点訳・音訳・要約筆記奉仕員を養成します。また、障がい者(児)の養成に応じて手話奉仕員等を派遣します。
- ・文字による情報入手が困難な障がい者に、地域生活に必要な情報を音訳や点訳の方法により提供します。
- ・障がい者(児)の自立支援等を図るために、障害者居宅介護事業（ホームヘルプサービス）や訪問入浴車による身体障害者訪問入浴サービス事業を実施します。
- ・障がい者(児)の外出（買い物、通院、趣味活動等）を支援するために、障害者移動支援事業を実施します。
- ・肝属地区障がい者基幹相談支援センター及びおおすみ障害者就業・生活支援センター等と連携し、障がい福祉に関する普及・啓発に努めます。



ドライブサロン（買い物中）



ドライブサロンの運営支援



ふれあい・いきいきサロン活動



（２）福祉教育やボランティア活動の推進

人や地域を思いやる「福祉の心」の醸成を図り、福祉への理解と関心を深め、地域住民の福祉意識の向上を目指します。

① 福祉教育の推進

市内の小・中・高等学校，地域・一般企業等を対象に福祉への理解と関心を深めるとともに，地域住民の連帯による福祉活動の促進を図ります。

事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
福祉教育の推進	継続 拡充					
			見直し			
ボランティア出前講座の実施	継続 拡充					
			見直し			
ボランティア体験学習の実施	継続 充実					
			見直し			

【具体的な取り組み】

- ・市教育委員会及び各小・中・高等学校と連携を図り福祉教育の推進を図ります。
- ・地域・学校及び一般企業等の希望に応じて，社協職員等を現地に派遣し，福祉やボランティア活動に関する出前講座を実施します。
- ・地域や学校・一般企業における，福祉やボランティアに関する自主的な学習を支援するために必要に応じてその教材の提供や福祉機器等の貸出を行います。
- ・小中高生を対象としたボランティア体験学習を実施します。
- ・その他必要なイベントの開催やボランティア活動のきっかけづくりを行います。

② ボランティアの育成

地域住民の福祉に対する意識を高め，地域貢献やボランティア活動など，主体的に参加する人づくりや学習の機会の確保などを行います。

事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
ボランティア講座等の開催	継続 充実					
			見直し			
高齢者元気度アップ・ポイント事業の実施	継続 拡充					
			見直し			

2 広報啓発活動等の充実

(1) 福祉に関する情報提供や情報収集及び社協事業活動の広報

地域の課題や社会資源、活動のノウハウなど、地域で必要とされる情報を提供します。また、情報収集の強化を図ります。併せて、社協が取り組んでいる事業や活動を広く市民に紹介します。

① 社協事業や福祉に関する情報提供の拡充

ホームページやフェイスブックなどインターネットを活用して、地域で必要とされる福祉活動に関する情報を市民に分かりやすく提供します。

事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
広報紙等による情報の提供	継続 拡充					
			見直し			

【具体的な取組み】

- ・年4回広報紙「社協だより」を発行します。
- ・インターネットを活用した情報提供
- ・社協パンフレットの発行等

② 福祉関係機関・団体等からの情報提供

関係機関・団体等から社協事業についての意見や要望等の情報収集に努め、今後の活動に反映させていきます。

事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
福祉モニターによる情報収集	継続 充実					
			見直し			
関係機関・団体等からの情報収集	継続 充実					
			見直し			
ネットワークの強化	継続 充実					

【具体的な取組み】

- ・地域に福祉モニターを配置し、情報収集に努めます。
- ・行政機関をはじめ、あらゆる関係機関・団体等からの情報収集に努めます。
- ・地域住民をはじめ福祉関係機関・団体などのネットワークの強化に努めます。

3 実施計画一覧

1 地域福祉活動の推進

実施計画	事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
(1) 日常生活支援の推進							
①ふれあいネットワーク活動の推進	ふれあいネットワーク活動の推進	継続 拡充					
	研修会等の開催	継続 充実					
	関係機関・団体との連携	継続 充実					
②ふれあい・いきいきサロン活動の推進	ふれあい・いきいきサロン活動の推進	継続 拡充					
	講習会や研修会の開催等	継続 充実					
③日常生活支援事業の実施	日常生活支援事業の実施	継続 拡充					
	地域包括ケアシステムの推進	実施	継続				
	協議体の設置やネットワークの構築	実施	継続				
	サービス調整や資源の開発	実施	継続				
	セミナー等の開催	継続 充実					
④権利擁護推進事業の実施	法人後見事業の実施	継続 拡充					
	福祉サービス利用支援事業の実施	継続 拡充					
⑤生活困窮者等への支援	生活困窮者等への支援	継続 拡充					
	各種企業や団体等との連携	新規 実施	継続				
⑥子育て支援事業の推進	つどいの広場の実施	継続 充実					
	ファミリー・サポート・センターの実施	継続 充実					
	子育てに関する調査及び企画	検討	実施	企画検討	実施		
	子育てサロンの実施	継続 充実					
⑦心配ごと相談事業の実施	心配ごと相談事業の実施	継続 充実					
⑧障がい者(児)福祉への支援	障がい者(児)への支援	継続 充実					
	障害者居宅介護事業等の実施	継続 充実					
(2) 福祉教育やボランティア活動の推進							
①福祉教育の推進	福祉教育の推進	継続 拡充					
	ボランティア出前講座の実施	継続 拡充					
	ボランティア体験学習の実施	継続 充実					
②ボランティアの育成	ボランティア講座等の開催	継続 充実					
	高齢者元気度アップ・ポイント事業の実施	継続 拡充					
	高齢者元気度アップ地域包括ケア推進事業の実施	継続 充実					
	災害ボランティア育成及び設置訓練	継続 充実					

2 広報啓発活動等の充実

実施事業	事業名	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
(1) 福祉に関する情報提供や情報収集及び社協事業活動の広報							
①社協事業や福祉に関する 情報提供の拡充	広報紙等による情報の提供	継続 拡充					
	福祉モニターによる情報収集	継続 充実					
②福祉関係機関・団体等 からの情報提供	関係機関・団体等からの情報収集	継続 充実					
	ネットワークの強化	継続 充実					

資料編

鹿屋市地域福祉活動計画策定及び評価に関する委員会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 鹿屋市における地域福祉の向上を図るとともに、今後の福祉ニーズ、福祉課題に対応するために、鹿屋市地域福祉活動計画（以下「計画」という。）の策定及び進行管理や評価を目的に、社会福祉法人鹿屋市社会福祉協議会（以下「社協」という。）に設置する。

(名称)

第2条 委員会の名称は、鹿屋市地域福祉活動計画策定及び評価に関する委員会（以下「委員会」という。）と称する。

(所掌事務)

第3条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) 計画の進行管理や評価に関すること。
- (3) 計画の策定及び進行管理や評価に関し必要な事項。

(組織)

第4条 委員会は、10名以内の委員をもって組織する。

2 委員会の委員は、次に掲げる者のうちから、会長が委嘱する。

- (1) 地域的な協働活動を行う者
- (2) 社会福祉の関係事業者
- (3) 社会福祉等に関する活動を行う者
- (4) 学識経験者
- (5) その他会長が必要と認める者

(任期)

第5条 委員の任期は2年とし、再任されることを妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に次の役員を置く。

委員長 1名

副委員長 1名

2 委員長、副委員長は、委員の互選により選出する。

(職務)

第7条 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第8条 委員会は、委員長が招集し、会議の議長となる。

(作業部会の設置)

第9条 委員会の円滑な運営を図るため、委員会のもとに作業部会を置くことができる。

2 作業部会の運営に関する必要な事項は、委員長が定める。

(作業部会の組織等)

第10条 作業部会の構成及び調査審議する事項については、次のとおりとする。

2 作業部会は、社協職員等をもって組織する。

3 作業部会は、次に掲げる事務を行う。

(1) 資料等の作成及び分析

(2) 課題の整理及び計画案の作成等

(3) その他目的を達成するために必要な事項

(関係者の出席要求)

第11条 委員会または作業部会が必要と認めるときは、関係者の出席を求め、説明及び意見を聞くことができる。

(事務局)

第12条 委員会の事務局は、社協内に置く。

(その他)

第13条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

2 鹿屋市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱(平成23年4月1日施行)は、廃止する。

3 鹿屋市地域福祉活動計画評価委員会設置要綱(平成 24 年 4 月 1 日施行)は、廃止する。

区分	委員種別	選出先	
第 1 号委員	地域的な協働活動を行う者	鹿屋市町内会連絡協議会	1 人
第 2 号委員	社会福祉の関係事業者	福祉施設経営者	1 人
		鹿屋市基幹型地域包括支援センター	1 人
		肝属地区障がい者基幹相談支援センター	1 人
第 3 号委員	社会福祉等に関する活動を行う者	鹿屋市民生委員・児童委員協議会	1 人
		鹿屋市高齢者クラブ連絡協議会	1 人
		鹿屋市ボランティア連絡協議会	1 人
		鹿屋市 N P O 団体	1 人
第 4 号委員	学識経験者	鹿屋市保健福祉部福祉政策課	1 人
		県社会福祉協議会地域福祉部	1 人

鹿屋市地域福祉活動計画策定及び評価に関する委員会委員名簿

自：平成 28 年 5 月 9 日

至：平成 30 年 3 月 31 日

番号	氏 名	選 出 母 体	備 考
1	浮牟田 富 雄	鹿屋市町内会連絡協議会副会長	副委員長
2	林 田 貴 久	社会福祉法人恵仁会 特別養護老人ホーム鹿屋長寿園施設長	
3	門 倉 雅 裕	鹿屋市地域包括支援センター次長	
4	前 田 富美子	肝属地区障がい者基幹相談支援センター 相談支援専門員	
5	渡 邊 正 人	鹿屋市民生委員児童委員協議会会長	委員長
6	吉 村 敏 行	鹿屋市高齢者クラブ連合会副会長	
7	平 田 英 子	鹿屋市ボランティア連絡協議会会長	
8	齋 藤 鈴 子	特定非営利活動法人隣の会理事長	
9	中津川 守	鹿屋市保健福祉部福祉政策課長	
10	古 市 幹 朗	鹿児島県社会福祉協議会地域福祉部長	

地域福祉活動計画策定に係る流れ

1. 経過

- 平成 28 年 2 月 12 日（金）第 1 回鹿屋市地域福祉活動計画策定ワーキングチーム
- 平成 28 年 3 月 7 日（月）第 2 回鹿屋市地域福祉活動計画策定ワーキングチーム
- 平成 28 年 3 月 14 日（月）アンケート調査項目に係る住民座談会の実施
- 平成 28 年 3 月 25 日（金）平成 28 年度事業計画に第 2 期鹿屋市地域福祉活動計画を策定することを第 6 回理事会・第 5 回評議員会において認定・承認を得るとともに予算に係る経費を計上
- 平成 28 年 4 月 1 日（金）鹿屋市地域福祉活動計画策定及び評価に関する委員会設置要綱制定
- 平成 28 年 4 月 21 日（月）第 3 回鹿屋市地域福祉活動計画策定ワーキングチーム
- 平成 28 年 5 月 9 日（月）第 1 回鹿屋市地域福祉活動計画策定及び評価に関する委員会を開催
- 平成 28 年 5 月 27 日（金）アンケート調査票市民 3,000 名に発送
- 平成 28 年 6 月 24 日（金）アンケート調査返送〆切
- 平成 28 年 7 月 1 日（金）第 2 回鹿屋市地域福祉活動計画策定及び評価に関する委員会を開催
- 平成 28 年 7 月 1 日（金）アンケート調査回収数 1,128 件（37.6%）
- 平成 28 年 8 月 30 日（火）作業部会を設置し、第 1 回作業部会で策定作業を開始する
- 平成 28 年 10 月 31 日（月）アンケート調査報告会を開催
（行政、策定及び評価に関する委員会委員、社協職員等の関係者向け）
- 平成 28 年 12 月 8 日（木）アンケート調査報告会及び住民座談会を開催
（民生委員・児童委員、町内会長、地域包括支援センター、行政、一般市民向け）
- 平成 28 年 12 月 26 日（月）第 2 回作業部会にて、住民アンケート調査及び住民座談会の課題整理、基本理念及び基本目標、基本計画並びに実施計画の骨子の検討
- 平成 29 年 2 月 13 日（月）管理職会議の中で進捗状況の報告（課題整理、基本理念及び基本目標、基本計画並びに実施計画の骨子）
- 平成 29 年 2 月 28 日（火）第 4 回理事会の中で進捗状況報告（基本理念及び基本目標、基本計画並びに実施計画の骨子）
- 平成 29 年 3 月 8 日（水）第 3 回作業部会にて、課題整理、活動計画の具体的な実施計画の内容及び第 2 期鹿屋市地域福祉活動計画（案）の検討
- 平成 29 年 3 月 13 日（月）管理職会議の中で、第 2 期活動計画（案）について報告
- 平成 29 年 3 月 17 日（金）社協正副会長において第 2 期活動計画（案）の進捗状況報告
- 平成 29 年 3 月 22 日（水）第 3 回鹿屋市地域福祉活動計画策定及び評価に関する委員会を開催し活動計画（案）を承認
- 平成 29 年 3 月 28 日（火）社会福祉協議会理事会において第 2 期活動計画（案）の承認、評議員会で報告する

地域福祉活動計画策定のための住民アンケート調査

(お願い)

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

鹿屋市社会福祉協議会は、鹿屋市と連携して市民が互いに助け合い、誰もが住みやすい地域社会をめざし、鹿屋市が策定した鹿屋市地域福祉計画に基づき、鹿屋市地域福祉活動計画の策定に取り組む予定です。計画策定にあたっては、住民の意見を取り入れ、策定過程においても住民参加を念頭において進めてまいります。

今回のアンケート調査も、市民一人ひとりの率直な意見を計画に反映することを目的としています。

調査対象は、鹿屋市在住 20 歳以上の市民から無作為に抽出した

3,000 名を対象としています。

ご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので本調査の目的以外に使用されることは一切ありませんし、個人名がでることもありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、計画策定とアンケート調査の目的をご理解頂き、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 28 年 5 月 鹿屋市保健福祉部 福祉政策課
社会福祉法人鹿屋市社会福祉協議会

◆御記入にあたって◆

- 本アンケート票の回答は平成 28 年 4 月 1 日現在でお答えください。
- 回答は無記名です。できる限り宛て名のご本人に記入をお願いしますが、ご家族や一緒にお住まいの方にご協力を頂いても構いません。
- ご記入いただいた調査票は **6 月 24 日(金)** までに、**封筒**に入れて、ご返送してください。
(市役所福祉政策課または社会福祉協議会窓口に直接お持ちいただいてもかまいません)
- 本調査についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。
〈お問い合わせ先〉

鹿屋市社会福祉協議会 本所

Tel 0994-44-2277 (地域福祉課)

問1 あなたの住んでいる地区はどこですか。

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 1. 鹿屋中学校区 | 2. 鹿屋東中学校区 | 3. 第一鹿屋中学校区 |
| 4. 田崎中学校区 | 5. 大始良中学校区 | 6. (旧)高須中学校区 |
| 7. 花岡中学校区 | 8. 高隈中学校区 | 9. 吾平地区 |
| 10. 輝北地区 | 11. 串良地区 | |

※鹿屋地域の地区区分

1. 鹿屋中学校区	古前城町 本町 朝日町 向江 共栄町 新栄町 北田東大手 大手町 西大手町 曾田町 白崎町 王子町 弥生 打馬 東原町 上祓川町 祓川町 下祓川町 西祓川町
2. 鹿屋東中学校区	新川町 寿1～8丁目 緑山(寿1) 泉ヶ丘(寿6) 札元1～2丁目 笠之原町 旭原町
3. 第一鹿屋中学校区	上谷町 新生町 大浦町 西原1～4丁目 西原2丁目東 西原2丁目西 西原2丁目中央 郷之原町 今坂町 上野町 野里町
4. 田崎中学校区	田崎町 川西町 川東町 永野田町 名貴町
5. 大始良中学校区	飯隈町 萩塚町 星塚町 池園町 南町 大始良町東 大始良町西 獅子目町 田淵町 横山町 下堀町
6. (旧)高須中学校区	高須町 浜田町
7. 花岡中学校区	花岡町 鶴羽 根木原町 花里町 北花岡 海道町 古里町 白水町 一里山 小野原町 天神町 船間町 古江新町 古江港街 古江本町 古江西
8. 高隈中学校区	高隈 大黒

問2 あなたの性別はどちらですか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたの年齢はおいくつですか。(平成28年4月1日現在) ()歳

問4 あなたを含め、同居されている家族構成について伺います。

- | | | |
|-------------------------|------------|----------------|
| 1. ひとり暮らし世帯 | 2. 夫婦のみの世帯 | 3. 夫婦と子の世帯 |
| 4. 夫婦と親の世帯 | 5. 親一人と子 | 6. その他の2人暮らし世帯 |
| 7. 3世代世帯(例 祖父母・両親・子が同居) | 8. その他 () | |

問4-1 日頃生活を共にされているご家族は、ご自分を入れて何人でしょうか。()人

問5 現在のご職業について伺います。

(1) 雇用形態は何でしょうか。

- | | | | | |
|------------|-------|--------|-------|----------|
| 1. 正規 | 2. 契約 | 3. パート | 4. 派遣 | 5. アルバイト |
| 6. その他 () | | | | |

(2) 現在の職業は何でしょうか。

- | | | | |
|------------------------------|-------|--------|-------|
| 1. 農業 | 2. 林業 | 3. 畜産業 | 4. 漁業 |
| 5. 商工業などの自営業(家族従事者を除く) | | | |
| 6. 事務職(民間・官公庁の職員や管理職) | | | |
| 7. 販売・労務職(店員・工員・運輸従事者) | | | |
| 8. 専門職(医師・看護師・教員・福祉関係職・技術者等) | | | |
| 9. 専業主婦(主夫) | | | |
| 10. 内職 | | | |
| 11. 無職(学生を含む) | | | |
| 12. その他 () | | | |

問6 あなたは鹿屋市にお住まいになって通算して何年になりますか。()年

問7 あなたは市外での生活経験がありますか。

1. 生まれてから現在まで市内で生活している
2. 高校・大学等一時期市外にいた
3. 市内出身であり一時期市外で働いていたことがある(10年間未満)
4. 市内出身であり比較的長い間(10年以上)市外で働いていたことがある
5. 市外出身であり、その後こちらに移住してきた(10年未満)
6. 市外出身であり、その後こちらに移住してきた(10年以上)
7. その他具体的に

問8 あなたはずっと鹿屋市に住みたいですか。それとも別の場所に移りたいですか。

1. いつまでも住みたい
2. できるだけ住みたい
3. どちらでもいい
4. できれば移りたい

問9 問8で「4. できれば移りたい」と回答された方にお伺いします。それはどのようなことでしょうか。ご自由にお書きください。

----- ----- -----

問10 この後、仕事等で市外で暮らす予定はありますか。

1. 進学で市外で暮らす予定であるが、進学後は地域内(市内)で暮らしたい
2. 進学で市外で暮らす予定であり、進学後も地域外(市外)で暮らしたい
3. 仕事で市外で暮らす予定である
4. その他の理由で市外で暮らす予定である
5. 市外で暮らす予定はない

問11 ご近所の方とお付き合いはありますか。

- | | | |
|-----------------------|----------------|------------|
| 1. 自宅に行き来するつきあいの人がいる | 2. 立ち話をする程度 | 3. 挨拶をする程度 |
| 4. 自治会の会合などで会って話をする程度 | 5. ほとんど付き合いはない | |

問12 自宅に行ったり、来たりする「友人」はどのくらいいますか。

()人 ※ 6人以上は6でけっこうです。

問13 いざというとき「頼れる人」はどのくらいいますか。(家族を含め)

()人 ※ 6人以上は6でけっこうです。

問14 日頃、交流をしている人の範囲をお聞きます。

1. 自治会内の人との交流が主である
2. 自治会を含め市内の人との交流が主である
3. 市内だけでなく、市外の交流もよくある。
4. 市外の人との交流が主である。

問15 生活全般について 今の生活に満足していますか。

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 大変不満である | 2. やや不満である | 3. やや満足である | 4. 大変満足である |
|------------|------------|------------|------------|

問16 あなたの経済的な暮らし向きはいかがですか。

- | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1. 全く余裕はない | 2. あまり余裕はない | 3. まあ余裕がある | 4. 十分余裕がある |
|------------|-------------|------------|------------|

問 17 家族を含め毎日誰かと話をしていますか。1つだけ○を付けてください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 毎日誰かと話している。 | 2. 誰とも話さない日が週1日くらいある |
| 3. 誰とも話さない日が週2日～3日ある | 4. 誰とも話さない日が週4日～5日ある |
| 5. ほとんど誰とも話しをしない（週6日以上） | |

問 18 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。

- | | | |
|----------------|------------|------------|
| 1. ほぼ毎日（週5日以上） | 2. 週3～4日程度 | 3. 週1～2日程度 |
| 4. 1ヶ月1～3回 | 5. ほとんどしない | |

問 19 あなたが住んでおられる地域（中学校区の範囲）の生活環境についてお尋ねします。

（1）次の1から16までの各項目について、「悪い」、「やや悪い」、「どちらともいえない」、「やや良い」、「良い」の中から1つだけお選びください。

	悪い	やや悪い	どちらとも言えない	やや良い	良い
①子育てをする環境	1	2	3	4	5
②体の不自由な方が生活する環境	1	2	3	4	5
③働く環境	1	2	3	4	5
④緑や自然環境	1	2	3	4	5
⑤街灯	1	2	3	4	5
⑥公民館・集会所	1	2	3	4	5
⑦健康づくりや憩いの場	1	2	3	4	5
⑧ごみの処理のしやすさ	1	2	3	4	5
⑨病院や診療所の利用や整備	1	2	3	4	5
⑩防災対策	1	2	3	4	5
⑪買い物などの便	1	2	3	4	5
⑫福祉の施設やサービス	1	2	3	4	5
⑬道路や交通の便	1	2	3	4	5
⑭安全や治安の状態	1	2	3	4	5
⑮地域住民の人情や連帯感	1	2	3	4	5
⑯この地域の全体的住み心地	1	2	3	4	5

（2）この中で、今後、地域が力を入れていくべき項目を一つだけあげるとしたらどれでしょうか。

番号を一つ入れてください。（ ）

問 20 買物等についてお伺いします。

（1）現在、買い物に行くには、どのような交通手段を利用されますか。利用するものをいくつでも○を付けてください。

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. 自分で運転する自家用車 | 2. 同居家族が運転する自家用車 |
| 3. 自分又は同居の家族以外（例えば別居の家族や友人）が運転する自家用車 | |
| 4. 自分のバイク | 5. 自分の自転車 |
| 6. 徒歩 | 7. バス |
| 8. タクシー | 9. その他（ ） |

問 21 現在、買い物についてお困り事はありませんか。いくつでも○を付けてください。

- | | | |
|----------------|------------------|---------------|
| 1. 場所が遠い | 2. 交通手段が選べない（ない） | 3. 生鮮食料品が買えない |
| 4. 値段が高い | 5. 一度にたくさん買えない | 6. 好みのモノがない |
| 7. 買い物に行く時間がない | | |
| 8. その他（ ） | | |
| 9. 特にない | | |

問22 以下のような買い物支援サービスについて意見をお聞かせ下さい。

A 宅配サービス（欲しい商品を注文し自宅まで配達する）

（1）このようなサービスについて、利用希望をお聞きます。（○はひとつだけ）

1. すでに利用している 2. あれば利用してみたい 3. 利用しないと思う

B 移動販売車サービス（軽トラック等に商品を荷台等に積んで、移動し販売するサービス）

（1）このようなサービスについて、利用希望をお聞きます。（○はひとつだけ）

1. すでに利用している 2. あれば利用してみたい 3. 利用しないと思う

（2）移動販売車で購入するとしたらどのようなものでしょうか。該当するものをいくつでも○を付けてください。

1. 野菜 2. 鮮魚・貝類 3. 肉類 4. パン 5. 飲み物 6. インスタント食品
7. 菓子類 8. 麺類 9. お総菜 10. お弁当 11. その他（.....）

C 買い物バス事業（スーパーや小売店へ送迎してくれるサービス）

（1）このようなサービスについて、利用希望をお聞きます。（○はひとつだけ）

1. すでに利用している 2. あれば利用してみたい 3. 利用しないと思う

問23 地域内（市内）での助け合いについておたずねします。

（1）次のうちあなたが受けた地域内での助け合い活動がありますか。

項 目	ない	たまにある	よくある
1. 野菜や魚などの食材を分けてもらう	1	2	3
2. 掃除や洗濯をしてもらう	1	2	3
3. 家の補修をしてもらう	1	2	3
4. 日用品の買い物をしてもらう	1	2	3
5. ちょっとした話し相手になってもらう	1	2	3
6. 通院や買い物につれていってもらう	1	2	3
7. 一時的にお金を借りたり、立て替えたりしてもらう	1	2	3
8. いろいろな情報を教えてもらう	1	2	3
9. その他あなたが受けた地域内でのたすけあい活動がありましたらお書きください。 （.....）			

（2）逆にあなた自身が周囲の人に対し行った助け合い活動がありますか。

項 目	ない	たまにある	よくある
1. 野菜や魚などの食材をあげる	1	2	3
2. 掃除や洗濯をする	1	2	3
3. 家の補修をする	1	2	3
4. 日用品の買い物をする	1	2	3
5. ちょっとした話し相手になる	1	2	3
6. 通院や買い物につれていく	1	2	3
7. 一時的にお金を貸したり、立て替えたりする	1	2	3
8. いろいろな情報を教える	1	2	3
9. その他あなたが周囲の人に対し行った助け合い活動がありましたらお書きください （.....）			

問24 現在、あなたご自身の生活全般の、不安な点、問題点あるいは不自由をされていることがありますか。該当するものをいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1. 健康がすぐれなかったり、病気がちである | 2. 介護を必要としている |
| 3. 頼れる人がいなく一人きりである | 4. 収入が少ない |
| 5. 家事が大変である | 6. 外出時の転倒や事故 |
| 7. 財産や墓の管理 | 8. 金銭管理が苦手 |

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| 9. 人との付き合いがうまくいかない | 10. 家族のこと |
| 11. 社会の仕組み（法律、社会保障、金融制度）がわかりにくい | |
| 12. 悪質な訪問販売や投資、犯罪に巻き込まれた、巻き込まれている | |
| 13. 家が老朽化している | |
| 14. 最期を一人で迎えるのではないかと不安（孤立死不安） | |
| 15. 災害時の対応（避難等） | |
| 16. これからの人生設計に不安がある | |
| 17. その他のお困りごと（.....） | |
| 18. 心配ごとはない | |

問25 子育て中の方への質問（成人前のお子さんをお持ちの方へ） 該当しない方は問26へお進みください。

（1）お子さんの年齢区分は以下のうち、どれでしょうか。カッコ内に人数をお書きください。

- | | | |
|-----------------|-----------------------|----------------|
| 1. 1歳未満（.....人） | 2. 1歳から小学校入学前（.....人） | 3. 小学生（.....人） |
| 4. 中学生（.....人） | 5. 高校生以上（.....人） | |

（2）子ども・子育てに対する不安や悩みがあるでしょうか。該当するものをいくつでも○を付けてください。

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| 1. 子育てにかかる金銭的負担 | 2. 子育ての方法やしつけ | 3. 子どもの成長・発達 |
| 4. 子ども同士の交流 | 5. 仕事との両立 | 6. 子どもの愛情のかけ方 |
| 7. 親同士の交流 | 8. 子育てに関する支援 | 9. 待機児童問題 |
| 10. その他（.....） | 11. 特になし | |

（3）日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる |
| 3. 日常的にこどもをみてもらえる友人や知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事のときにはこどもをみてもらえる友人や知人がいる |
| 5. いずれもない |
| 6. 特に必要ない |

（4）行政（市、県、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号にいくつでも○を付けてください。

- | |
|--|
| 1. 親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する |
| 2. 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす |
| 3. 親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する |
| 4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む |
| 5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する |
| 6. 子育て支援に関する情報提供を充実する |
| 7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る |
| 8. 子育てサークル活動への支援を充実する |
| 9. 保育所などこどもを預ける施設を増やす |
| 10. こどもの一時預かりなどのサービスを充実する |
| 11. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う |
| 12. 小児救急など安心してこどもが医療機関を利用できる体制を整備する |
| 13. こどもの安全を確保する対策を充実する |
| 14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる |
| 15. 育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充 |
| 16. 市営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む |

17. その他 (.....)
18. 特になし

問 2 6 災害時の対応等についてお伺いします。

(1) 災害時の避難場所は知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

(2) 避難所に一人で避難できますか。

1. 一人で避難できる 2. 少し人の手助けがいる 3. 大いに人の手助けがいる



(3) 上の問いで「手助けがいる」とお答えの方へ、手助けをされる方はいますか。

1. いる 2. いない

問 2 7 地域社会についての以下の考え方について「そう思う」ものに、いくつでも○を付けてください。

1. この土地なりの生活やしきたりがある以上、出来るだけこれにしたがっていきたい。
2. 自分の生活上の要求を出来るだけ市政その他に反映していくのは市民としての権利である。
3. 地域活動は、住民がお互いすすんで協力し、住みやすくするように心がける。
4. 人はそれぞれ社会的な関心も違うのだからできるだけ個人が自由にできることを保証すべき。
5. 地域のことは地元の熱心な人がやればいいと思う。

問 2 8 自由時間についておうかがいします。

(1) あなたが日頃、自由に使える時間は十分にあると思いますか。(○は1つ)

1. 十分ある 2. ややある 3. あまりない 4. 全くない

(2) 日頃の自由時間を、主にどんなことに使っていますか。いくつでも○を付けてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 仕事仲間とのプライベートなつきあい | 2. 仕事に関する勉強や残務整理 |
| 3. テレビ・ゴロ寝やパチンコ、酒など | 4. ひとりで趣味・スポーツ・学習など |
| 5. 仲間と趣味・スポーツなど | 6. パソコン通信やインターネットなど |
| 7. 個人的な友人・仲間とのつきあい | 8. 行楽・ドライブなど |
| 9. 庭いじりや家事など家庭内のこと | 10. 家庭との団らんや家庭サービス |
| 11. 近隣の人とのつきあいや地域の用事 | 12. ボランティア活動 |
| 13. その他 (.....) | 14. 特に何もしない |

問 2 9 町内会（自治会）活動・ボランティア活動についてお伺いします。

(1) 地区などで一緒にする行事(運動会、寄付、清掃等)にあなたは参加する方ですか。

1. よく参加する 2. ある程度参加する 3. あまり参加しない 4. ほとんど参加しない

(2) あなたの世帯は、自治会・町内会に加入されていますか。1つだけ○を付けてください。

1. 加入している 2. 加入していない 3. わからない

(3) (2)で「2. 加入していない」、「3. わからない」とお答えされた方へお伺いします。

自治会へ入っていないとしたら加入したいですか。1つだけ○を付けてください。

1. 加入したい 2. 誘われれば加入する 3. 加入したくない 4. わからない

(4) 自治会・町内会の意味や課題について考えられることはありますか。該当するものを番号にいくつでも○を付けてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 会費が高い | 2. 入るメリットがわからない |
| 3. 若い人ばかりに仕事まわってくる | 4. 高齢になっても役員はやるべき |

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 5. 活動をしている人を地域全体で支える | 6. 町内会に入っていない人に対しても交流すべき |
| 7. 加入者が減少し、事業の運営が危うくなっている | 8. 町内会活動の意義をもっと知らせるべき |
| 9. その他 (.....) | 10. 特にない |

(5) 地域活動・ボランティア活動の経験はありますか。1つだけ○を付けてください。

- | | | |
|--------------|--------------------|-------------|
| 1. 定期的に行っている | 2. 不定期であるが行ったことがある | 3. 特に行っていない |
|--------------|--------------------|-------------|

(6) 先の(5)の設問で「1. 定期的に行っている」「2. 不定期であるが行ったことがある」と回答された方に伺います。それはどのような活動でしょうか。該当するものにいくつでも○を付けてください。

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. 地域の生活環境を守る活動 | 2. 地域のイベントや“村おこし”の活動 |
| 3. 趣味・スポーツや学習グループのリーダーとしての活動 | 4. 児童や青少年活動の世話役としての活動 |
| 5. 地域の文化財や伝統を守る活動 | 6. 消費者活動や生活向上のための活動 |
| 7. 障害者・老人の手助けなどの社会福祉活動 | 8. 行政の委員、民生委員、保護司、人権擁護委員等の活動 |
| 9. 自然保護や環境保全の活動 | 10. 国際交流に関する活動 |
| 11. その他 (具体的に.....) | |

(7) 先の(5)の設問で、「3. 特に行っていない」と回答された方にお伺いします。

活動をしない理由は何ですか。該当するものにいくつでも○を付けてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 時間がない | 2. 経済的余裕がない |
| 3. 精神的なゆとりがない | 4. 健康や体力に自信がない |
| 5. 家族など周囲の理解や協力が得られない | 6. 自分にあった活動の場がない |
| 7. 一緒にやる仲間がいない | 8. 何から始めるか、きっかけがつかめない |
| 9. 興味がない、関心がない | 10. その他 (.....) |
| 11. 特にない | |

(8) 今後、ボランティア(奉仕)活動をしたいですか。(経験の有無に関係なく)

- | | | | |
|----------------|-----------|-------------|---------|
| 1. おおいにやりたい | 2. やってもいい | 3. あまり関心はない | 4. できない |
| 5. その他 (.....) | | | |

(9) 地域活動やボランティア活動をする、あるいはしたいと考える理由はどのようなものでしょうか。

該当するものにいくつでも○を付けてください。

- | | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| 1. 地域や社会に貢献したい | 2. 自分の知識や経験を活かしたい | 3. 社会への見聞を広げたい |
| 4. 友人や仲間を増やしたい | 5. 生活にはりあいを持たせたい | 6. 身近な人に誘われた |
| 7. 会社の勤めや命令 | 8. 社会人として当然と思った | 9. 特にない |

(10) 以下のような日常生活上の生活課題に対応する活動を行う場合、ボランティアとして活動が手伝えますか。
やれそうなものにすべてに○を付けてください。

- | | | |
|--|------------|------------------|
| 1. ご近所の方のゴミ出しの手伝い | 2. 電球の取り替え | 3. ご近所の方との会話 |
| 4. ご近所の方の買い物支援(車の相乗りや代理購入等) | | |
| 5. 植木の散水や剪定や草取り | 6. 布団干し | 7. 郵便物の投函 |
| 8. 病院からの薬の受け取りなど連絡調整 | 9. 散歩の手伝い | 10. 廃品の回収 |
| 11. 台風時の戸締まり | 12. 外出時の支援 | 13. ペットの世話(散歩など) |
| 14. ちょっとした家電の修理や配線の点検 | 15. 大掃除 | 16. ちょっとした家の補修 |
| 17. ちょっとした水道の補修(パッキンの取り替えなど) | | |
| 18. その他お手伝いできることを具体的にお書きください。
(.....) | | |
| 19. 特になし | | |

(11) 逆にあなたがやってほしいことがあれば、あてはまるものすべて○を付けてください。

- | | | |
|------------------------------|------------|------------------|
| 1. ゴミ出しの手伝い | 2. 電球の取り替え | 3. ご近所の方との会話 |
| 4. ご近所の方の買い物支援（車の相乗りや代理購入等） | | |
| 5. 植木の散水や剪定や草取り | 6. 布団干し | 7. 郵便物の投函 |
| 8. 病院からの薬の受け取りなど連絡調整 | 9. 散歩の手伝い | 10. 廃品の回収 |
| 11. 台風時の戸締まり | 12. 外出時の支援 | 13. ペットの世話（散歩など） |
| 14. ちょっとした家電の修理や配線の点検 | 15. 大掃除 | 16. ちょっとした家の補修 |
| 17. ちょっとした水道の補修（パッキンの取り替えなど） | | |
| 18. その他お手伝いしてほしいこと（_____） | | |
| 19. 特になし | | |

問30 あなたは鹿屋市で行っている福祉サービス（子育て、介護等）に関する情報をどこで入手していますか。主なもの1つだけに○を付けてください。

- | | | | |
|------------|----------------|---------------|------------|
| 1. 広報誌 | 2. 市役所 | 3. 地域包括支援センター | 4. 防災無線 |
| 5. 福祉施設 | 6. 近所の人・友人 | 7. 新聞・雑誌 | 8. インターネット |
| 9. 社会福祉協議会 | 10. その他（_____） | | |

問31 鹿屋市社会福祉協議会（略称：鹿屋市社協）について

(1) あなたは鹿屋市社会福祉協議会をご存知ですか。

- | | | |
|----------|-------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らない |
|----------|-------------|---------|

(2) 鹿屋市社会福祉協議会が実施している事業のうち、ご存知のものに全て○を付けてください。

- | |
|---|
| 1. ふれあいネットワーク活動事業（高齢者等への地域住民による見守りや声かけ活動） |
| 2. 高齢者ふれあい・いきいきサロン事業（公民館などに気軽に集いお茶などを楽しむ活動） |
| 3. レクリエーション道具の貸出事業（サロン等で使用するレクリエーション道具の貸出） |
| 4. ドライブサロン事業（サロンの機能を活用しつつ、買い物等の交通手段を提供する） |
| 5. 心配ごと相談所（一般相談）や専門相談所（法律、税務・経営、財産・登記）の開設 |
| 6. ボランティアセンター事業（ボランティア出前講座・ボランティアリーダー研修会・災害ボランティア講習会等の開催など） |
| 7. 福祉機器貸出事業（車イスやアイマスク・疑似体験セットなどの貸し出し） |
| 8. ボランティア養成講習会（手話・点字・音声訳・要約筆記奉仕員の養成等） |
| 9. 聴覚障害者等への手話奉仕員や要約筆記奉仕員の派遣事業（手話などによる情報提供） |
| 10. 障害者等への声の広報発行事業（点字訳・音声訳による情報誌の翻訳） |
| 11. 福祉機器リサイクル事業（不用になった福祉機器を必要な方へ無料で斡旋する事業） |
| 12. 介護予防ボランティア事業（65歳以上の元気な方が行う、ボランティア活動の実績に応じてポイントを付与する事業） |
| 13. 高齢者元気度アップ地域包括ケア推進事業（65歳以上の方を含む任意の団体が行う互助活動に対しポイントを付与する事業） |
| 14. ファミリーサポートセンター事業（利用会員とサポート会員の相互の子育て支援事業） |
| 15. つどいの広場「りな」事業（乳幼児をもつ親とその子どもが気軽に集える場の提供） |
| 16. 子育てサロン事業（未就学児の親子が公民館などで気軽に集い交流を深める活動） |
| 17. 福祉情報配信事業（メールにより子育てや防犯、日曜在宅医など、役立つ情報を提供する事業） |
| 18. 生活福祉資金貸付事業（低所得者世帯等への自立更生のための貸付事業） |
| 19. 成年後見事業（法人後見事業）（家庭裁判所からの選任により、認知症高齢者や精神障がい者等の法律面や生活面を支援する事業） |
| 20. 福祉サービス利用支援事業（高齢者などの福祉サービス利用手続きや金銭管理などを支援する事業） |
| 21. 介護保険事業（訪問介護・訪問入浴介護・居宅介護支援） |
| 22. 障がい者自立支援関連事業（訪問介護・訪問入浴介護・ガイドヘルプ） |

23. 高齢者等訪問給食サービス事業〈吾平・輝北・串良支所のみ実施〉
24. 高齢者等生きがい対応型デイサービス事業〈輝北支所のみ実施〉
25. 葬儀事業
26. 鹿屋市市民交流センター(リナシティかのや)内「福祉プラザ」の管理・運営【指定管理者】
27. 鹿屋市社会福祉会館の管理・運営
28. 輝北ふれあいセンターの管理・運営【指定管理者】
29. 鹿屋市社協ホームページの開設
30. 社協だより発行事業(年4回)
31. 福祉モニター事業(社協事業や地域福祉に関する事業に対しモニターから意見を頂く)
32. 赤い羽根共同募金事業(鹿児島県鹿屋市共同募金委員会)の協力
33. 日本赤十字社(日本赤十字社鹿児島県支部鹿屋市地区)の協力

(3) 社会福祉協議会に対する要望やご意見などありましたら、お書きください。

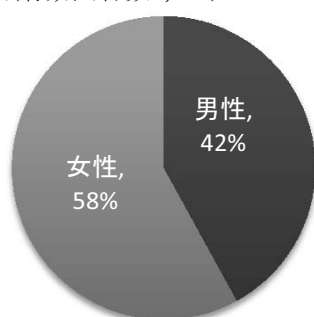
問32 地域福祉の推進について、今後どのようなことを取り組むべきだと思いますか。
具体的にお書きください。(誰がどのように)

調査はこれで終了です。ご協力有難うございました

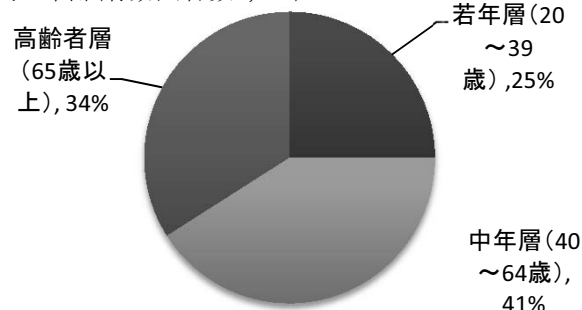
アンケート調査の結果(2016年)

あなたご自身のことについてお尋ねします。

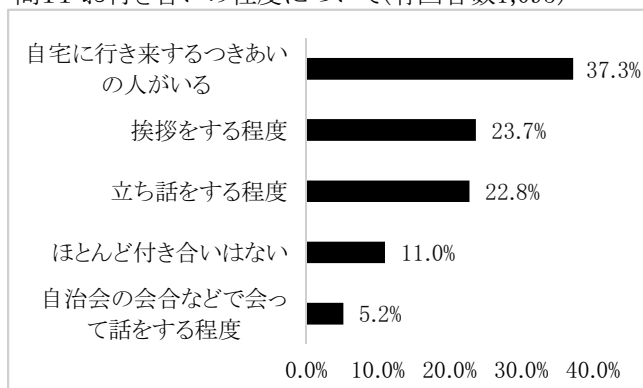
問2 性別(有効回答数1,135)



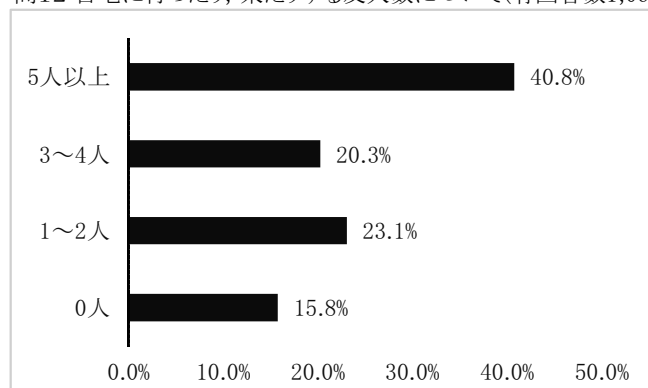
問3 年齢(有効回答数1,130)



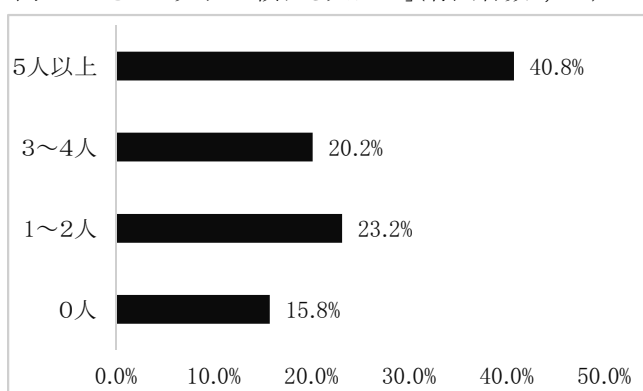
問11 お付き合いの程度について(有回答数1,095)



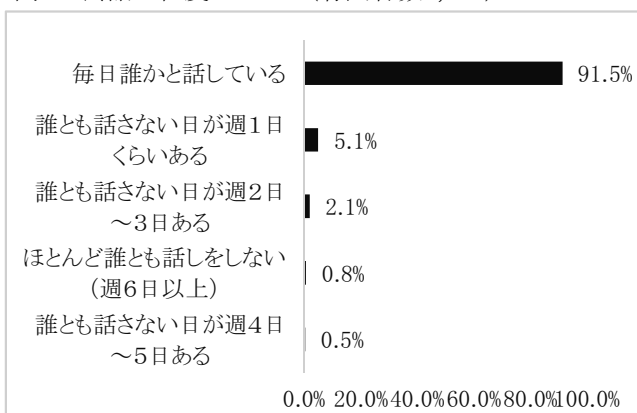
問12 自宅に行ったり、来たりする友人数について(有回答数1,063)



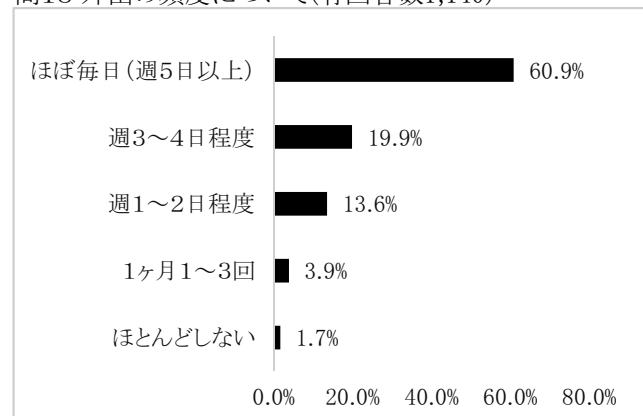
問13 いざという時の「頼れる人は？」(有回答数1,104)



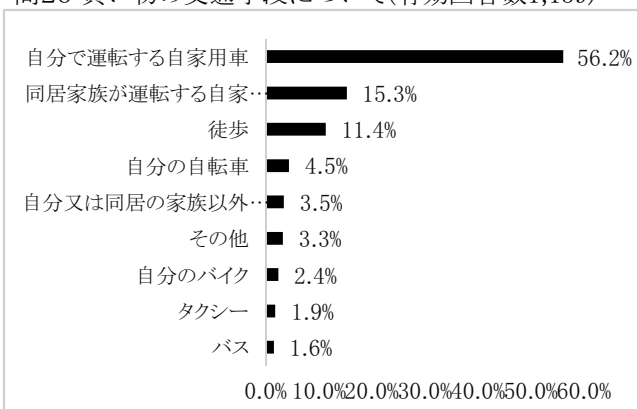
問17 会話の程度について(有回答数1,139)



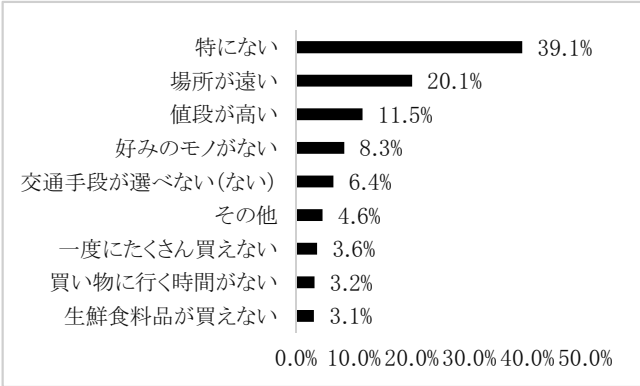
問18 外出の頻度について(有回答数1,140)



問20 買い物の交通手段について(有効回答数1,139)

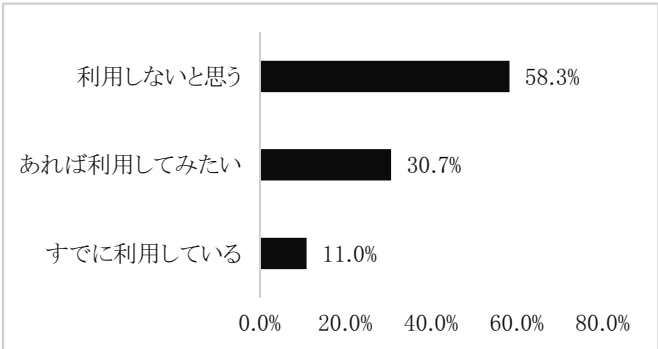


問21 買い物の困り事について(有効回答数1,063)

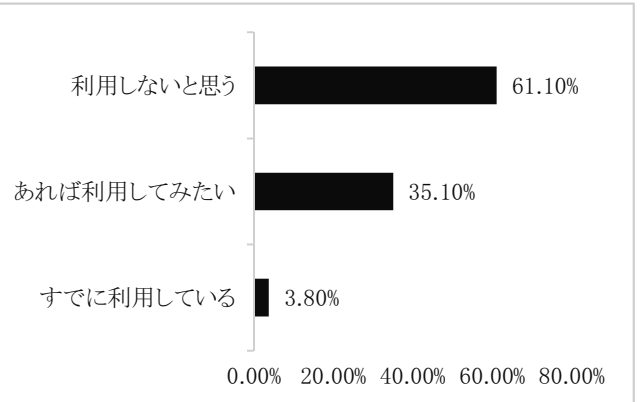


問22 買い物支援サービスについて

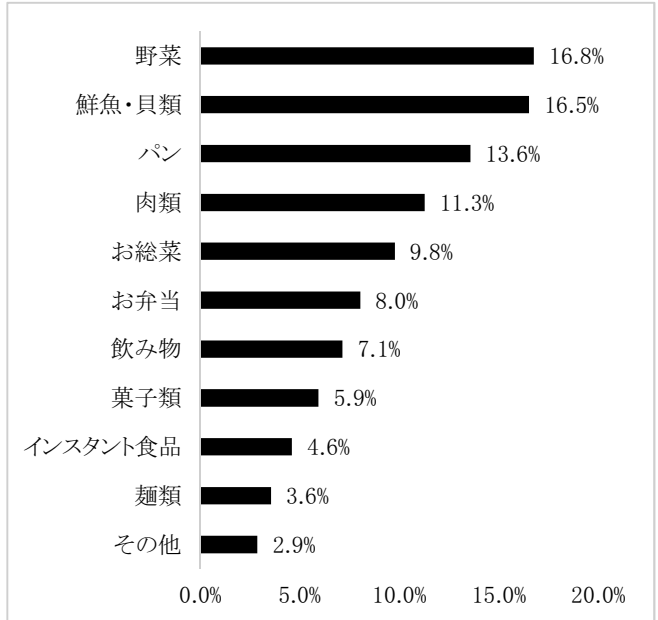
A 宅配サービスの利用希望について(有効回答数1,105)



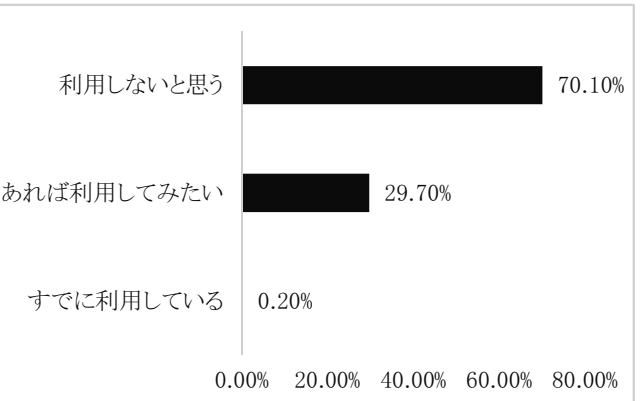
B(1) 移動販売車の利用希望について(有効回答数1,078)



B(2) 移動販売車購入希望品目(有効回答数853)



C 買い物バス事業の利用希望について(有効回答数1,081)



問23 地域内での助け合い活動について

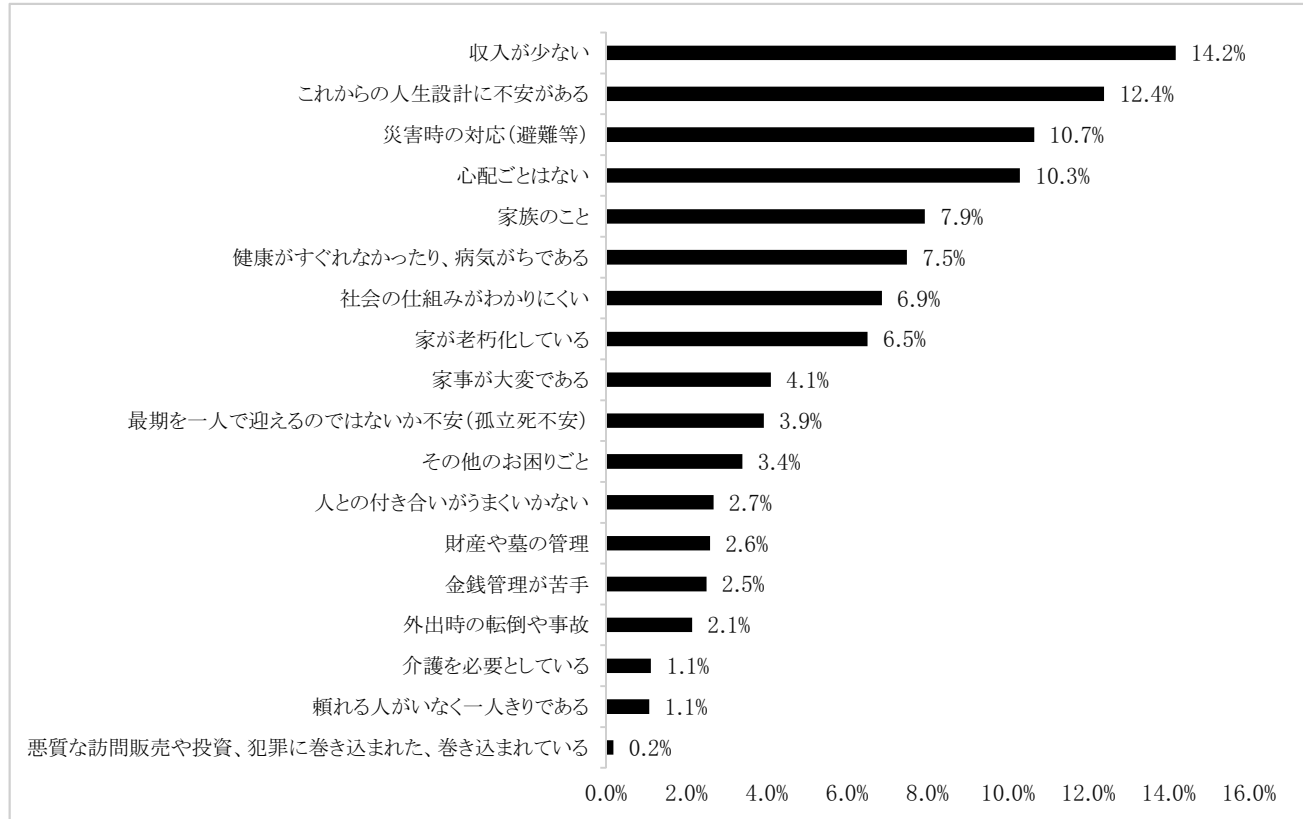
(1) 受けた地域内での助け合い活動

内容	ない	たまにある	よくある	合計
野菜や魚などの食材を分けてもらう	40.6%	45.9%	13.5%	100.0%
掃除や洗濯をしてもらう	98.6%	1.1%	0.3%	100.0%
家の補修をしてもらう	90.5%	8.9%	0.6%	100.0%
日用品の買い物をしてもらう	96.5%	2.9%	0.6%	100.0%
ちょっとした話し相手になってもらう	64.5%	28.6%	6.9%	100.0%
通院や買い物につれていってもら	92.8%	6.4%	0.8%	100.0%
一時的にお金を借りたり、立て替えたりしてもらう	96.3%	3.3%	0.4%	100.0%
いろいろな情報を教えてもらう	48.5%	43.7%	7.8%	100.0%

(2) 周囲の人に対し行った助け合い活動

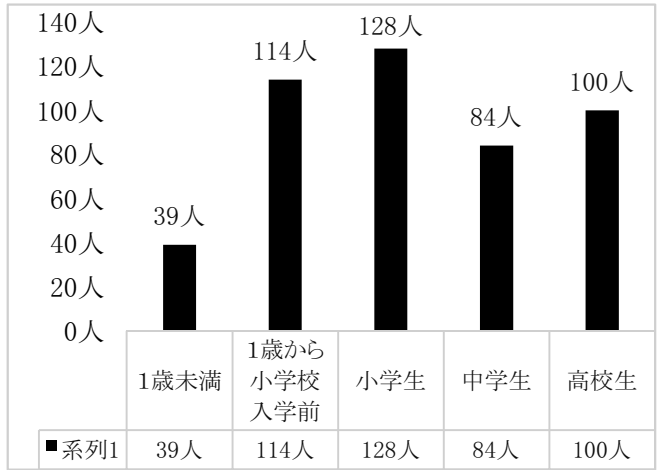
内容	ない	たまにある	よくある	合計
野菜や魚などの食材をあげる	41.3%	48.3%	10.4%	100.0%
掃除や洗濯をする	93.6%	5.6%	0.8%	100.0%
家の補修をする	93.2%	6.1%	0.7%	100.0%
日用品の買い物をする	85.9%	12.9%	1.2%	100.0%
ちょっとした話し相手になる	49.9%	42.6%	7.5%	100.0%
通院や買い物につれていく	84.1%	14.0%	1.9%	100.0%
一時的にお金を貸したり、立て替えたりする	93.4%	6.1%	0.5%	100.0%
いろいろ情報を教える	54.3%	40.3%	5.4%	100.0%

問24 生活の困り事について(有効回答数1,034)

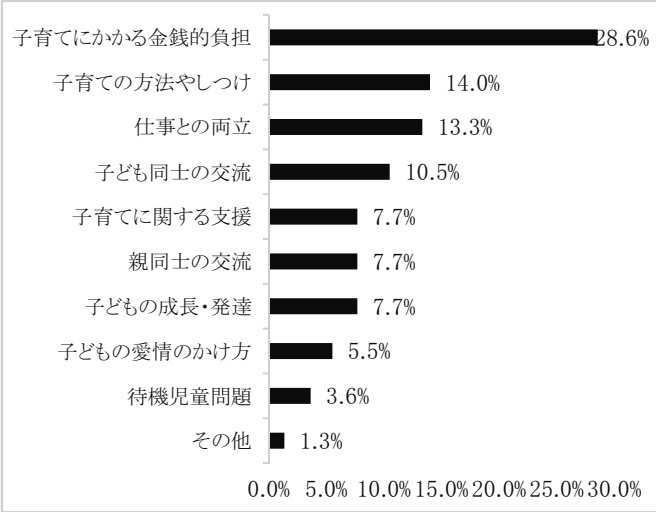


問25 子育て中の方への質問について

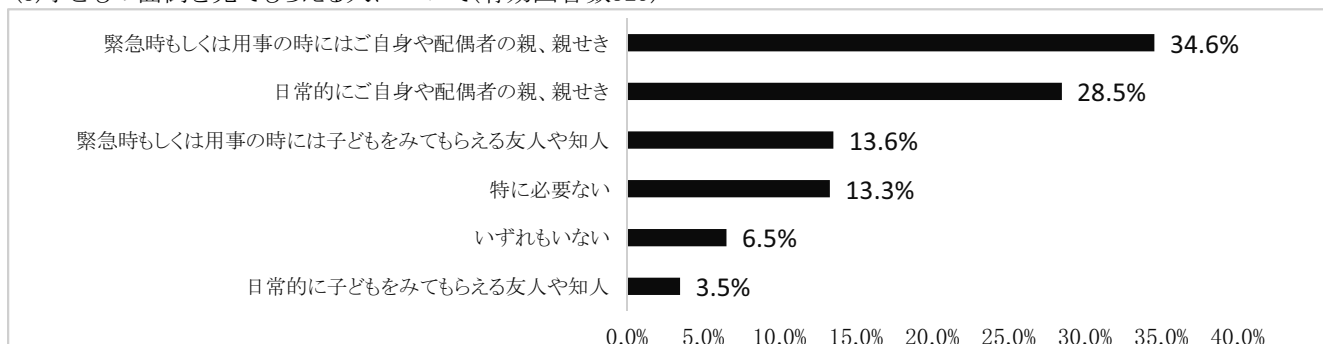
(1) こどもの年齢区分について



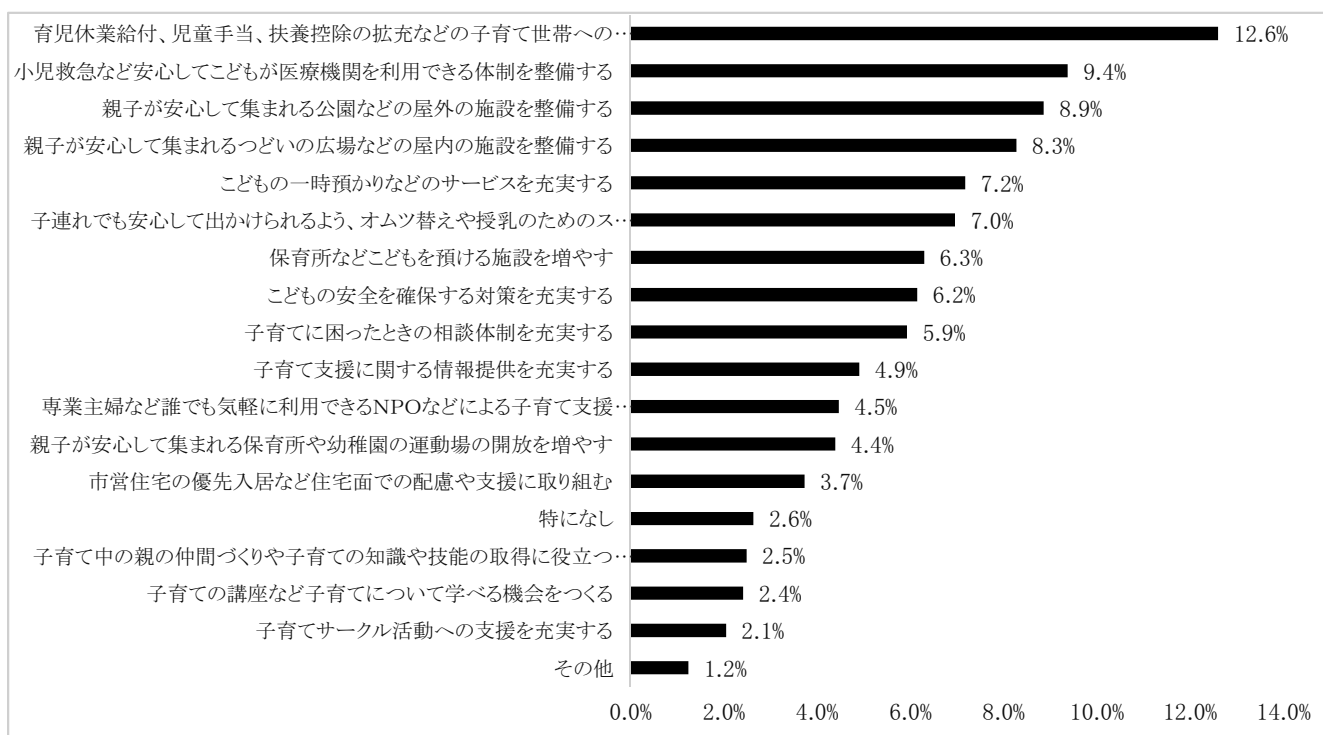
(2) 子ども・子育ての困り事(有効回答数287)



(3)子どもの面倒を見てもらえる人について(有効回答数329)

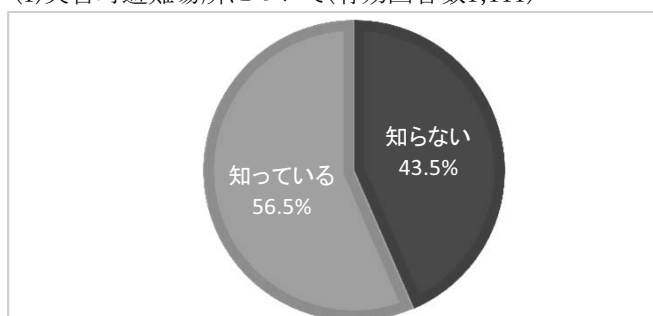


(4)子育て支援策の充実について(有効回答数338)

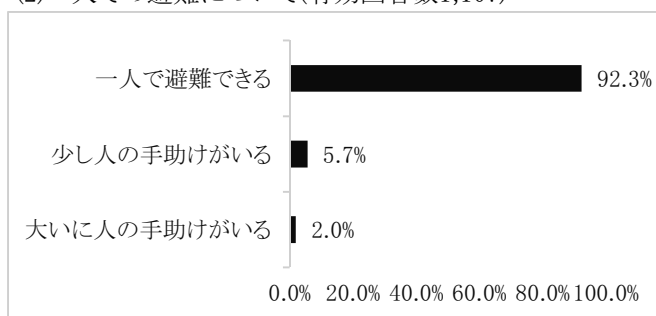


問26 災害時の対応等について

(1)災害時避難場所について(有効回答数1,111)

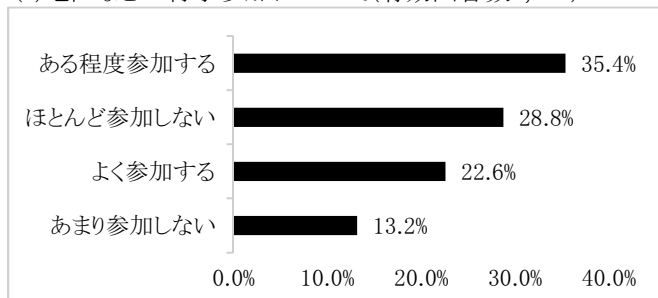


(2)一人での避難について(有効回答数1,107)

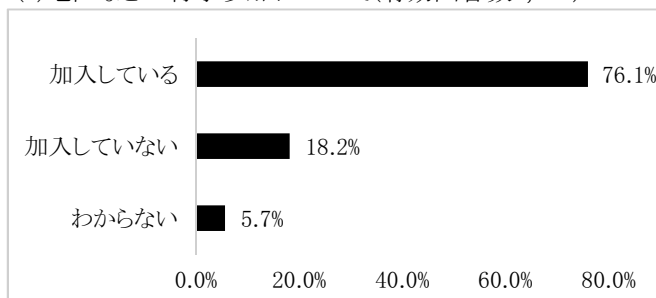


問29 町内会(自治会)活動ボランティア活動について

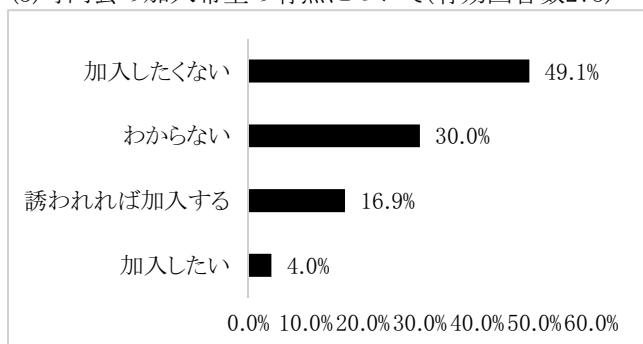
(1)地区などの行事参加について(有効回答数1,124)



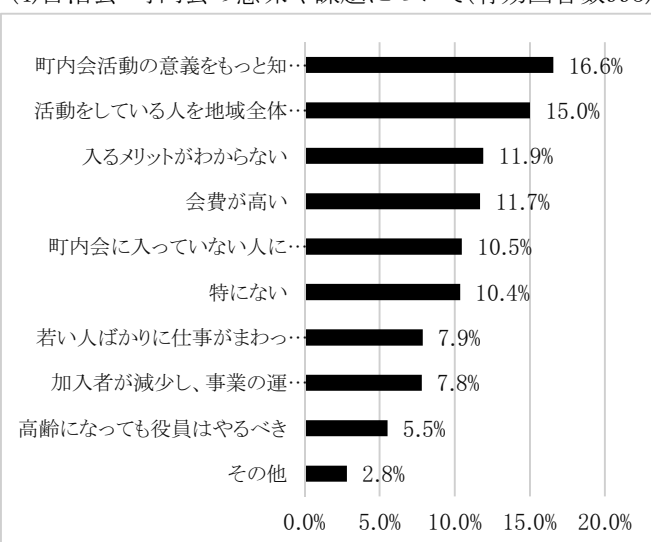
(2)地区などの行事参加について(有効回答数1,129)



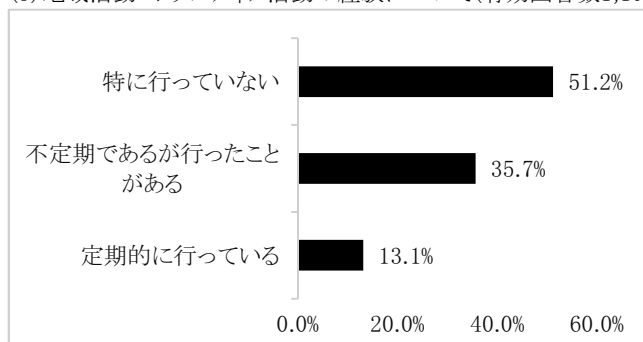
(3)町内会の加入希望の有無について(有効回答数273)



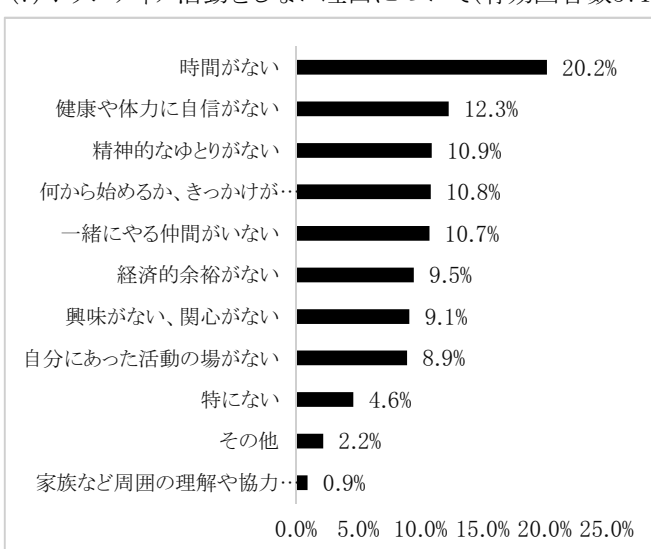
(4)自治会・町内会の意味や課題について(有効回答数993)



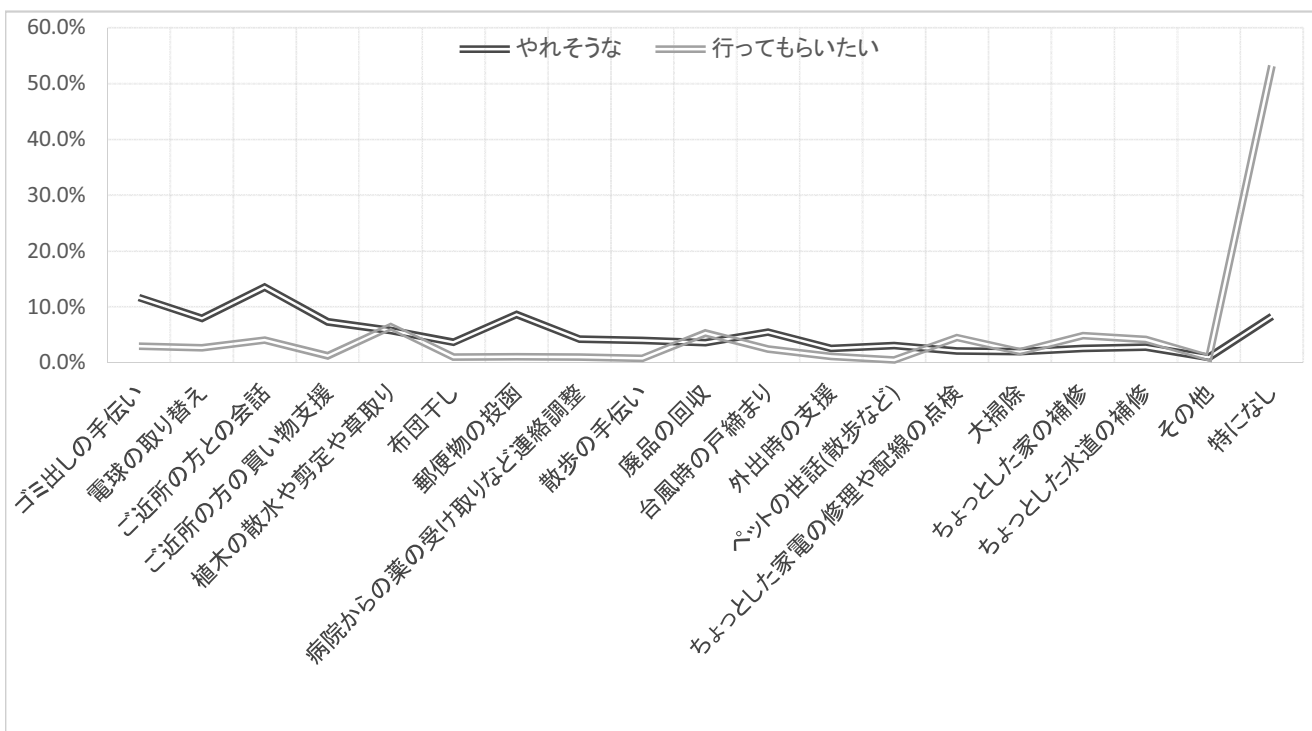
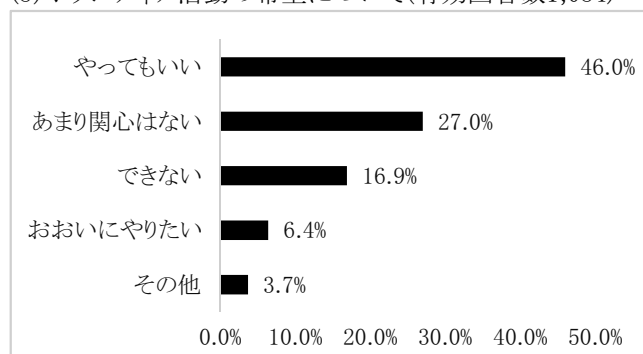
(5)地域活動・ボランティア活動の経験について(有効回答数1,104)



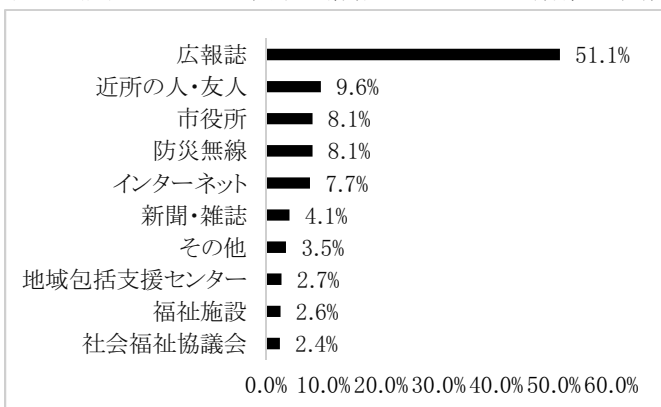
(7)ボランティア活動をしない理由について(有効回答数571)



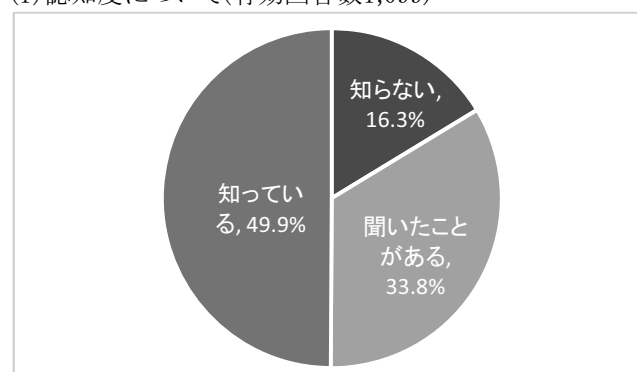
(8)ボランティア活動の希望について(有効回答数1,084)



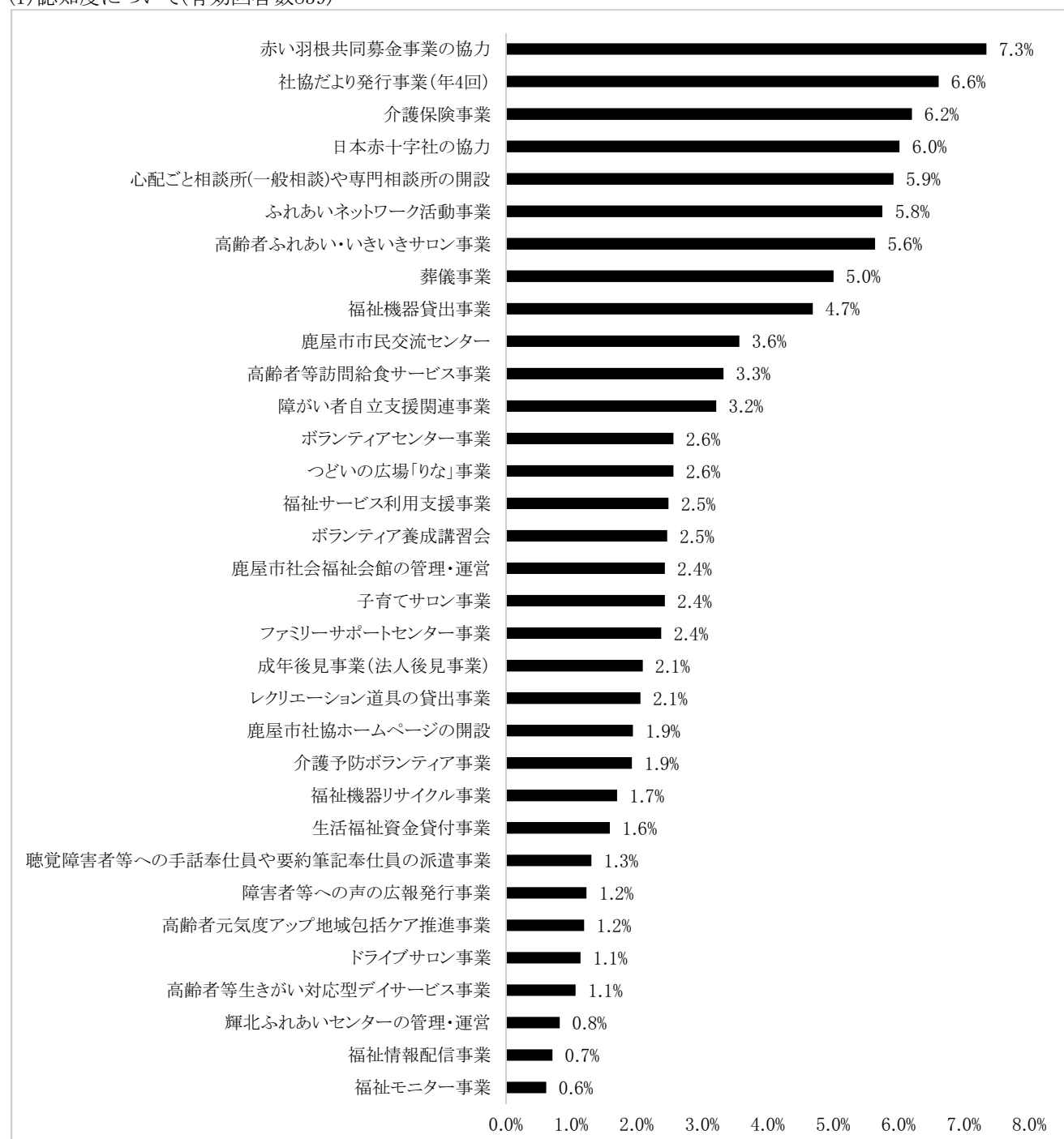
問30 福祉サービスに関する情報入手について(有効回答数1 問31 社会福祉協議会について



(1) 認知度について(有効回答数1,099)



(1) 認知度について(有効回答数839)



(1) 地域福祉活動の推進

小地域を中心とした福祉活

事業名		具体的な取り組み		事業実績		目標達成状況		課題	今後の事業活動方針	評価	委員会による今後の方向性
① 町内会・学区等の小地域における福祉活動を進めるため、地域の生活課題やその解決策等について話し合いを行い、地域福祉にによる組織基盤づくりを推進します。	推進協議会	・年間10地域で住民座談会を実施し、地域福祉推進協議会の設置を推進します。		H24年度 10地域	H25年度 10地域	H26年度 10地域	H27年度 10地域	□ [A] 目標達成に向けて大きく進展している	・町内会に福祉部会が設置されている場合はそれを持って福祉推進協議会とみなして推進する。 ・計画的な住民座談会の実施を進める。 ・社協のみが抱える取り組みとして捉えるのではなく、地域包括ケアシステムの構築に向けてのどう位置付けていくか、市や関係機関と考える必要がある。	□A 良好である ■B 概ね良好である □C 努力を要する	□A 充実 ■B 継続 □C 縮小 □D 廃止・休止
		実績 13地域	7地域	3地域	5地域	□ [B] 目標達成に向けて概ね順調に進展している	■ [C] 現状維持(現状維持でやむなしを含む)	□ [D] 目標達成に進展状況が停滞している			
② 地域住民との話し合いを重ねながら、見守りや声かけ活動、地域の生活課題に応じた助け合い活動などの実践活動の推進を図ります。	ネットワーク	・地域ぐるみで支えあふ仕組みづくりに関しては協議・検討し、地域住民による見守りや声かけ活動及び地域のニーズに即した助け合い活動などの実践活動を推進します。		H24年度 10地域	H25年度 10地域	H26年度 10地域	H27年度 10地域	□ [A] 目標達成に向けて大きく進展している	・地域福祉活動に対する意識が高いため、活動の駆け出しに苦慮している。 ・地域福祉活動に取り組んでいる地域こそでない地域での格差が出てくるため、進んでいない地域への活動体制づくりが課題である。	□A 良好である ■B 概ね良好である □C 努力を要する	□A 充実 ■B 継続 □C 縮小 □D 廃止・休止
		目標 10地域	10地域	10地域	10地域	□ [B] 目標達成に向けて概ね順調に進展している	■ [C] 現状維持(現状維持でやむなしを含む)	□ [D] 目標達成に進展状況が停滞している			
③ 市民誰もが「ふれあいネットワーク」活動の取り組みに関心を持ち、市内全域でこの活動が広がっていくよう活動の普及促進を図ります。	ネットワーク	・年1回「ふれあいネットワークセミナー」を開催します。 ・地域や関係機関・団体等に Outreach を行い、事業の取組を紹介し、普及促進を図ります。 ・社協によりやりやホームページ等を活用し事業を紹介し、普及促進を図ります。		H24年度 1(串良)	H25年度 1(吾平)	H26年度 1(雄北)	H27年度 1(鹿屋)	□ [A] 目標達成に向けて大きく進展している	・介護保険法改正に伴う新地域支援事業との関係性を検討する必要がある。 ・セミナーの内容を見直し介護保険法改正などに即したセミナーを開催する。 ・セミナーとサロン講座を効率よく実施できないか検討する。	□A 良好である ■B 概ね良好である □C 努力を要する	□A 充実 ■B 継続 □C 縮小 □D 廃止・休止
		目標 1	1	1	1	■ [B] 目標達成に向けて概ね順調に進展している	□ [C] 現状維持(現状維持でやむなしを含む)	□ [D] 目標達成に進展状況が停滞している			
④ 地域で継続的に取り組む関係者による「ふれあいネットワーク」活動の取り組みに関心を持ち、市内全域でこの活動が広がっていくよう活動の普及促進を図ります。	ネットワーク	・活動者に依頼し、年1回「ふれあいネットワークセミナー」を開催し、相互の意見交換等を通じて事業の支援や活性化を図ります。 ・事業を効果的に取り組むにあたっての手順や事例などを記した「ふれあいネットワーク活動の手引き」を作成します。		H24年度 ・手引きの作成 ・連絡会の開催等	H25年度 ・連絡会の開催等	H26年度 ・連絡会の開催等	H27年度 ・連絡会の開催等	□ [A] 目標達成に向けて大きく進展している	・引き続き、市や旬活センター、関係機関・団体等と連携を図りながら実施していく。	□A 良好である ■B 概ね良好である □C 努力を要する	□A 充実 ■B 継続 □C 縮小 □D 廃止・休止
		目標 ・手引きの作成 ・連絡会の開催等	・連絡会の開催等	・連絡会の開催等	・連絡会の開催等	■ [B] 目標達成に向けて概ね順調に進展している	□ [C] 現状維持(現状維持でやむなしを含む)	□ [D] 目標達成に進展状況が停滞している			

(2) ふれあい・いきいきサロン活動の推進

家に閉じこもりがちな高齢者等が、お互いに声をかけ合い地域の公民館や集落センター等に集い、茶話会等を通して情報交換や孤立化防止・介護予防を目的としたレクリエーションなどで、楽しいひとときを過ごすふれあい・いきいきサロン活動を推進します。

事業名		具体的な取り組み		事業実績					目標達成状況					課題	今後の事業活動方針	評価	委員会による 今後の方向性																					
①	ふれあいネットワーク活動に取り組み地域や、サロンの立ち上げに未だ至っていない地域に対して、積極的なその立ち上げを推進します。	・年間8地域でこの活動の立ち上げを推進します。 「ふれあい・いきいきサロンの手引き」を活用し活動の紹介に努めます。 ・地域に出向いて、その立ち上げを支援します。		<table><tr><td></td><td>H24年度</td><td>H25年度</td><td>H26年度</td><td>H27年度</td></tr><tr><td>目標</td><td>8ヶ所</td><td>8ヶ所</td><td>8ヶ所</td><td>8ヶ所</td></tr><tr><td>実績</td><td>8ヶ所</td><td>8ヶ所</td><td>23ヶ所</td><td>21ヶ所</td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標	8ヶ所	8ヶ所	8ヶ所	8ヶ所	実績	8ヶ所	8ヶ所	23ヶ所	21ヶ所	<table><tr><td>■ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>□ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td></tr><tr><td>□ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしも含む)</td></tr><tr><td>□ (D)</td><td>目標達成に進捗状況が停滞している</td></tr><tr><td>□ (E)</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	■ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	□ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している	□ (C)	現状維持(現状維持でやむなしも含む)	□ (D)	目標達成に進捗状況が停滞している	□ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・サロンがある地域、ない地域のムラがある。					・サロン活動のムラをなくすために、関係機関と連携することで地域資源の掘り起こしを図り、より一層サロン活動を推進することに努める。	□A 良好である ■B 概ね良好である □C 努力を要する □D 廃止・休止	
			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																																
目標	8ヶ所	8ヶ所	8ヶ所	8ヶ所																																		
実績	8ヶ所	8ヶ所	23ヶ所	21ヶ所																																		
■ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																																					
□ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している																																					
□ (C)	現状維持(現状維持でやむなしも含む)																																					
□ (D)	目標達成に進捗状況が停滞している																																					
□ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																																					
②	サロン活動に取り組んでいる地域からのあらゆる相談に応じ、より良い情報提供や助言に努め、ボランティアや助言に努め、ボランティアと連携を図りながら、活動に取り組んでいる地域を支援します。	・相談に応じ地域に出向いて活動を支援します。 ・職員等の派遣や活動資料・レクリエーション等に要する物品貸出等を行います。 「ふれあい・いきいきサロン活動」に役立つレクリエーション事例集等を作成します。 ・年1回「ふれあい・いきいきサロンリーダー研修会」を開催します。 「ふれあい・いきいきサロン活動関係者のセミナーや研修会への参加を支援します。		<table><tr><td></td><td>H24年度</td><td>H25年度</td><td>H26年度</td><td>H27年度</td></tr><tr><td>目標</td><td>レク事例集の作成・交流会の開催等</td><td>交流会の開催等</td><td>交流会の開催等</td><td>交流会の開催等</td></tr><tr><td>実績</td><td>レク事例集の作成・交流会の開催等</td><td>活動事例集の作成・交流会の開催等</td><td>レク事例集の作成・交流会の開催等</td><td>交流会の開催等</td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標	レク事例集の作成・交流会の開催等	交流会の開催等	交流会の開催等	交流会の開催等	実績	レク事例集の作成・交流会の開催等	活動事例集の作成・交流会の開催等	レク事例集の作成・交流会の開催等	交流会の開催等	<table><tr><td>□ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>■ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td></tr><tr><td>□ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしも含む)</td></tr><tr><td>□ (D)</td><td>目標達成に進捗状況が停滞している</td></tr><tr><td>□ (E)</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	□ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	■ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している	□ (C)	現状維持(現状維持でやむなしも含む)	□ (D)	目標達成に進捗状況が停滞している	□ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・サロン全体の高齢化が進んでおり、代表者の負担軽減や認知症の方への対応等、継続支援に力を入れていく必要がある。					・サロンを運営する中で、ニーズをいち早くつかみ、幅広い支援を提供し、継続のために代表者の引き継ぎについても支援していく。 ・関係機関等の連携は必須である。	□A 良好である ■B 概ね良好である □C 努力を要する □D 廃止・休止	
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																																		
目標	レク事例集の作成・交流会の開催等	交流会の開催等	交流会の開催等	交流会の開催等																																		
実績	レク事例集の作成・交流会の開催等	活動事例集の作成・交流会の開催等	レク事例集の作成・交流会の開催等	交流会の開催等																																		
□ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																																					
■ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している																																					
□ (C)	現状維持(現状維持でやむなしも含む)																																					
□ (D)	目標達成に進捗状況が停滞している																																					
□ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																																					

(3) 子育て支援事業の推進

地域で安心して子育てができる仕組みづくりや社会資源づくりを進めます。

事業名	具体的な取り組み	事業実績	目標達成状況	課題	今後の事業活動方針	委員会による																									
						評価	今後の方向性																								
地域で安心して子育てができる仕組みづくりや地域会資源づくりを進めます。	・子育て中の親や子育て団体・関係機関等に調査を行い、地域のニーズ把握に努めます。 ・子育てに役立つ講習会やイベント等を実施いたします。 ・「子育てサロンの手引き」を活用し、子育てサロン活動の紹介に努めます。 ・子育てサロン活動の立ち上げを進め、その立ち上げまでの支援に努めます。 ・ファミリー・サポート・センター事業を実施します。 ・(利用会員とサポート会員による相互援助で支える子育て支援事業) ・つどいの広場「りな」事業を実施します。 ・(乳幼児をもつ親とその子どもが気軽に集える場を提供する子育て支援事業) ・メールにより子育てに役立つ情報を提供する福祉情報配信事業を実施します。	<table><tr><th></th><th>H24年度</th><th>H25年度</th><th>H26年度</th><th>H27年度</th></tr><tr><td>目標</td><td>・子育てサロン1ヶ所</td><td>・子育てサロン1ヶ所</td><td>・子育てサロン1ヶ所</td><td>・子育てサロン1ヶ所</td></tr><tr><td>実績</td><td>・子育てサロン2ヶ所</td><td>・子育てサロン1ヶ所</td><td>・子育てサロン0ヶ所</td><td>・子育てサロン0ヶ所</td></tr></table> ・ファミリー・サポート・センター ター(27年度実績) 登録者数 661名 ・つどいの広場のな (H27年度実績) 利用者数 12,202名		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標	・子育てサロン1ヶ所	・子育てサロン1ヶ所	・子育てサロン1ヶ所	・子育てサロン1ヶ所	実績	・子育てサロン2ヶ所	・子育てサロン1ヶ所	・子育てサロン0ヶ所	・子育てサロン0ヶ所	<table><tr><td>☐ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>☐ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進んでいる</td></tr><tr><td>☒ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td></tr><tr><td>☐ (D)</td><td>目標達成に進捗状況が停滞している</td></tr><tr><td>☐ (E)</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	☐ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進んでいる	☒ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐ (D)	目標達成に進捗状況が停滞している	☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・子育てサロン継続のための世話人の負担軽減等考えなければならないが、住民主体を崩さない支援の仕り方が課題である。	・市や子育て支援センター(つどいの広場)等と連携しながら、子育て支援に努めていく。	☐A 良好である ☒B 概ね良好である ☐C 努力を要する ☐D 廃止・休止
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																											
目標	・子育てサロン1ヶ所	・子育てサロン1ヶ所	・子育てサロン1ヶ所	・子育てサロン1ヶ所																											
実績	・子育てサロン2ヶ所	・子育てサロン1ヶ所	・子育てサロン0ヶ所	・子育てサロン0ヶ所																											
☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																														
☐ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進んでいる																														
☒ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)																														
☐ (D)	目標達成に進捗状況が停滞している																														
☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																														
子育て支援事業の推進																															

(4) 心配ごと相談事業の実施						
市民の様々な生活上の問題に対して相談に応じ、専門機関等への橋渡しや福祉サービス等の情報を提供し、問題解決へ適切に支援します。						
事業名	具体的な取り組み	事業実績		目標達成状況	課題	今後の事業活動方針
心配問題に対して相談に応じ、専門機関等への橋渡しや福祉サービス等の情報を提供し、問題解決へ適切に支援します。		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	・今後も引き続き心配ごと相談所の周知に努め、相談に応じて専門機関への橋渡しや福祉サービス等の情報を提供し、広く市民の問題解決を支援する。
心配問題に対して相談に応じ、専門機関等への橋渡しや福祉サービス等の情報を提供し、問題解決へ適切に支援します。		目標				
相談事業の実施		実績	562件	546件	593件	553件
委員会による 評価 今後の方向性						
					☐ A 良好である ☒ B 概ね良好である ☐ C 努力を要する ☐ D 廃止・休止	☐ A 充実 ☒ B 継続 ☐ C 縮小 ☐ D 廃止・休止
(5) 権利擁護推進事業の推進事業の実施						
成年後見制度や福祉サービス利用支援事業の対象となる者などに対し、一体的・総合的な支援を実施するための拠点を設置し、権利擁護を必要とする者への支援体制を強化します。						
事業名	具体的な取り組み	事業実績		目標達成状況	課題	今後の事業活動方針
① 成年後見（法人後見）事業の実施	・事業の公平性と透明性を確保するために、年2回「運営委員会」及び臨時「審査委員会」を開催します。 ・成年後見制度などの理解を深めるために、年1回「権利擁護推進セミナー」を開催します。 ・権利擁護推進センターの手直しとパンフレットを作成し、事業の周知に努めます。 ・県社協や関係機関・団体等と連携を図り、事業の普及促進を図ります。	H26年度	H27年度			・身寄りの問題や家族の希薄化などにより利用者数は増加し、潜在的なニーズも高いと思われるが、予算確保が課題である。
		目標	・年2回運営委員会の開催 ・セミナーの開催 ・チラシ、パンフレットの作成			
実績	・12/5権利擁護センター設置 ・運営委員会の開催（年2回） ・セミナーの開催 ・関係機関との連携（鹿児島地方裁判所、鹿児島県庁、鹿児島県庁、鹿児島県庁） ・パンフレットの追加作成					
				☐ (A) 目標達成に向けて大きく進展している ☒ (B) 目標達成に向けて概ね順調に進展している ☐ (C) 現状維持(現状維持でやむなしを含む) ☐ (D) 目標達成に進展状況が停滞している ☐ (E) 実施状況が悪しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・利用者は増加傾向にあるが県社協からの受託金は年々減少しているため、予算確保が課題である。 ・認知症の独居高齢者など判断能力の衰えから契約に結びつかないケースが多い。 ・利用者のモラル低下について苦慮している。 ・（※行政担当者や関係機関団体の担当者との連携が重要である。） ・関係機関、団体等の対応が契約後は任せきりになるケースが多い。	☐ A 良好である ☒ B 概ね良好である ☐ C 努力を要する ☐ D 廃止・休止
② 福祉サービス利用支援事業の実施	・高齢者や障がい者で自らの判断能力に不安のある方で、福祉サービスの利用の手続きや日常生活の金銭の支払い等にお困りの方を支援いたします。	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	・身寄りの問題や生活困窮など、県庁市の権利擁護推進と連携し、取り組むために行政及び関係機関・団体と連携しながら実施していく。
		目標				
実績		73名	74名	75名	79名	
				☐ (A) 目標達成に向けて大きく進展している ☒ (B) 目標達成に向けて概ね順調に進展している ☐ (C) 現状維持(現状維持でやむなしを含む) ☐ (D) 目標達成に進展状況が停滞している ☐ (E) 実施状況が悪しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)		☐ A 良好である ☒ B 概ね良好である ☐ C 努力を要する ☐ D 廃止・休止

2 福祉教育やボランティア活動の推進

(1) 福祉教育の推進							事業の評価	
人や地域を思いやる「福祉の心」の醸成を図り、福祉への理解と関心を深め、地域住民の福祉意識の向上を目指します。							評価	今後の方向性
事業名	具体的な取り組み	事業実績					課題	今後の事業活動方針
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度		目標達成状況	
① 福祉イベントの開催	「ノーマライゼーション」の理念のもと、福祉への理解と関心を深めるとともに、地域住民の連帯による福祉活動の促進を図るため、福祉のイベントを開催します。	2回	2回	2回	2回	☐ [A] 目標達成に向けて大きく進展している ☒ [B] 目標達成に向けて概ね順調に進んでいる ☐ [C] 現状維持(現状維持でやむなしを含む) ☐ [D] 目標達成に進捗状況が停滞している ☐ [E] 実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・鹿屋市ふれあいレクリエーション 平成27年5月23日開催 ・鹿屋市保健福祉フェスタ 平成28年2月20日開催	・各団体を通じて各所から参加できるよう市と連携しながら対応していきたい。 ・プログラム内容について、参加者全員がイベントにも市と連携しながら対応していきたい。
② 福祉文コンクールの実施	「共に生きる」といったやさしさや思いやり、ボランティア活動への参加の大切さ、児童・生徒を対象とした福祉文コンクールを実施します。	47点	44点	44点	42点	☐ [A] 目標達成に向けて大きく進展している ☒ [B] 目標達成に向けて概ね順調に進んでいる ☐ [C] 現状維持(現状維持でやむなしを含む) ☐ [D] 目標達成に進捗状況が停滞している ☐ [E] 実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・作品提出を最低1校1点以上を目標としているが、提出のない学校もある為、目標に沿った推進を図る必要がある。	・事業推進を図るため、ボランティア推進校として提出の協力を求める。 ・学校への依頼と併せて今後も継続的に教頭研修会等の時に十分な趣旨説明を行う。
③ ボランティア推進校の取組	ボランティア推進校の取組を支援します。 ・ボランティア推進校の担当教諭等を対象とした連絡会を年1回実施します。 ・ボランティア推進校に對し、福祉教育に係るニーズ調査を行います。	47校	44校	44校	42校	☐ [A] 目標達成に向けて大きく進展している ☐ [B] 目標達成に向けて概ね順調に進んでいる ☒ [C] 現状維持(現状維持でやむなしを含む) ☐ [D] 目標達成に進捗状況が停滞している ☐ [E] 実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・ボランティア推進校の活動助成金使途で、美化活動以外の活動が少ない。	・今後学校が取り組める高齢者や障がい者、年少児との交流、文化伝承活動等との地域住民との交流、募金活動や収集活動など幅広い活動ができるよう情報提供し、また教育委員会と連携し、福祉教育の支援に努める。
④ 児童・生徒のボランティア活動の実施	市内の小・中・高等学校等の児童・生徒を対象に、学校外における様々なボランティア活動の実績に際してボランティアを付与し、ボランティア活動を開始する「きつかけつくり」を推進します。	47校	44校	44校	32校	☐ [A] 目標達成に向けて大きく進展している ☐ [B] 目標達成に向けて概ね順調に進んでいる ☒ [C] 現状維持(現状維持でやむなしを含む) ☐ [D] 目標達成に進捗状況が停滞している ☐ [E] 実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・ボランティア活動推進校連絡会 平成27年7月8日開催	教育委員会を通して、校長会、教頭会で協力依頼を行うとともに、PTA、子ども育成会にも、事業の取組みについて理解と協力が得られるよう、事業説明や広報活動に努める。

⑤福祉体験出前講座の実施	地域・学校及び一般企業等を対象に、福祉の理解や関心を高め、思いやりを育むことを目的に、福祉体験出前講座を実施します。	・社協広報紙及びホームページ等により広報いたします。また、企業に強化します。 ・地域・学校及び一般企業等の希望に応じて、社協職員等を現地に派遣し、福祉やボランティア活動に関する講話及び体験学習等を実施します。	<table><tr><th></th><th>H24年度</th><th>H25年度</th><th>H26年度</th><th>H27年度</th></tr><tr><td>目標</td><td>10回：600人</td><td>10回：600人</td><td>10回：600人</td><td>10回：600人</td></tr><tr><td>実績</td><td>12回：659人</td><td>14回：630人</td><td>13回：787人</td><td>17回：882人</td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標	10回：600人	10回：600人	10回：600人	10回：600人	実績	12回：659人	14回：630人	13回：787人	17回：882人	<table><tr><td>☐ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>☒ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td></tr><tr><td>☐ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td></tr><tr><td>☐ (D)</td><td>目標達成に遅滞状況が停滞している</td></tr><tr><td>☐ (E)</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している	☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・小学校の出前講座が少ない。(市内小学校24校中4校)	・各小学校や教育委員会と連携し広報活動に努める。
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																											
目標	10回：600人	10回：600人	10回：600人	10回：600人																											
実績	12回：659人	14回：630人	13回：787人	17回：882人																											
☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																														
☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している																														
☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)																														
☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している																														
☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																														
⑥福祉教材の貸出	地域や学校・一般企業における、福祉やボランティアに関する自主的な学習を支援するために必要に応じてその教材の提供や福祉機器等の貸出を行います。	・社協広報紙及びホームページ等により広報啓発を行います。 ・福祉機器(車いす、白杖とアイマススク、高齢者疑似体験セット等)の貸出を行います。 ・子どもから高齢者までの交流を図るためのレクリエーション遊具の貸出を行います。 ・ボランティア教材(ボランティア手帳等)の提供を行います。	<table><tr><th></th><th>H24年度</th><th>H25年度</th><th>H26年度</th><th>H27年度</th></tr><tr><td>目標</td><td>30件(90台：120台) 30件(90台：120台)</td><td>30件(90台：120台) 30件(90台：120台)</td><td>30件(90台：120台) 30件(90台：120台)</td><td>30件(90台：120台) 30件(90台：120台)</td></tr><tr><td>実績</td><td>30件(94台：101台) 33件(85台：167台)</td><td>37件(97台：178台) 25件(81台：121台)</td><td>25件(81台：121台) 33件(85台：167台)</td><td>33件(85台：167台) 30件(90台：120台)</td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標	30件(90台：120台) 30件(90台：120台)	30件(90台：120台) 30件(90台：120台)	30件(90台：120台) 30件(90台：120台)	30件(90台：120台) 30件(90台：120台)	実績	30件(94台：101台) 33件(85台：167台)	37件(97台：178台) 25件(81台：121台)	25件(81台：121台) 33件(85台：167台)	33件(85台：167台) 30件(90台：120台)	<table><tr><td>☐ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>☒ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td></tr><tr><td>☐ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td></tr><tr><td>☐ (D)</td><td>目標達成に遅滞状況が停滞している</td></tr><tr><td>☐ (E)</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している	☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・特になし	・今後も継続的に、地域や学校、一般企業等における、福祉やボランティアに関する自主的な学習を支援するために必要に応じてその教材の提供や福祉機器等の貸し出しを行っていく。
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																											
目標	30件(90台：120台) 30件(90台：120台)	30件(90台：120台) 30件(90台：120台)	30件(90台：120台) 30件(90台：120台)	30件(90台：120台) 30件(90台：120台)																											
実績	30件(94台：101台) 33件(85台：167台)	37件(97台：178台) 25件(81台：121台)	25件(81台：121台) 33件(85台：167台)	33件(85台：167台) 30件(90台：120台)																											
☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																														
☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している																														
☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)																														
☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している																														
☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																														

(2) ボランティアの育成

地域住民の福祉に対する意識を高め、地域貢献やボランティア活動など、主体的に参加する人づくりや学習の機会の確保などを行います。

事業名	具体的な取り組み	事業実績					目標達成状況	課題	今後の事業活動方針	事業の評価											
			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度				評価	今後の方向性										
① 市内の小学校高学年の児童を対象に、ボランティア活動とは何かという基礎知識を学んでもらい、学校や地域で自ら進んで活動するボランティアリーダーを育成します。	・ 広報紙や市内の小学校等を通じて、研修会の実施を周知します。 ・ 市内4地域において研修会を実施します。		H24年度 50名	H25年度 50名	H26年度 50名	H27年度 50名	<table><tr><td>☐ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>☐ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td></tr><tr><td>☒ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td></tr><tr><td>☐ (D)</td><td>目標達成に遅滞状況が停滞している</td></tr><tr><td>☐ (E)</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table> ・ ボランティアリーダー研修会 平成27年8月20日開催	☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	☐ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☒ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している	☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・ 開催時期が夏休み期間中ということ、塾であったり、スポーツ少年団等の活動や大会等もあることから年々参加者が少なくなってきた。また、学校でも福祉教育に取り組んでいることから研修の在り方について見直す必要がある。	・ 今後、事業の継続について検討していく。	☐ A 良好である ☒ B 概ね良好である ☐ C 努力を要する	☐ A 充実 ☒ B 継続 ☐ C 縮小 ☐ D 廃止・休止
☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																				
☐ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している																				
☒ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)																				
☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している																				
☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																				
② 市内の中学校・高校の生徒を対象に、ボランティア活動の場を提供し、体験を通じて福祉意欲を高め、積極的なボランティア活動への参加を促進するサマーマーボランティア体験学習を実施します。	・ 広報紙や市内の中学校・高校等を通じて、体験学習の実施を周知します。 ・ 市内の福祉施設等に協力をいただき、学習の場を確保します。 ・ 事前学習も踏まえた体験学習を実施します。		H24年度 50名	H25年度 50名	H26年度 50名	H27年度 50名	<table><tr><td>☐ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>☐ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td></tr><tr><td>☒ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td></tr><tr><td>☐ (D)</td><td>目標達成に遅滞状況が停滞している</td></tr><tr><td>☐ (E)</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table> ・ 事前学習：平成27年7月28日開催 ・ 体験学習：平成27年7月29～30日開催	☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	☐ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☒ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している	☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・ 市学校教育課で取り組んでいる保育園の体験学習と開催時期と内容が重なったため、参加者が少なかった。	・ 今後も継続して、中・高校生を中心に一般も含めてボランティア活動の場を提供し、ボランティア体験を通じて福祉意欲を高め、積極的なボランティア活動への参加を促進するため、サマーマーボランティア体験学習を実施する。 また、内容の充実を図るために、他市の取組みを参考に検討していきたい。	☐ A 良好である ☒ B 概ね良好である ☐ C 努力を要する	☐ A 充実 ☒ B 継続 ☐ C 縮小 ☐ D 廃止・休止
☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																				
☐ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している																				
☒ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)																				
☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している																				
☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																				

・事前学習：平成27年7月28日開催
・体験学習：平成27年7月29～30日開催

[illegible]

③ ボランティア活動に関する情報の提供	・ボランティア活動に関する情報をボランティアセンター（リナシティ）や各支所において情報提供に努めます。 ・社協ホームページにボランティア情報コーナーを開設します。	<table><tr><td></td><td>H24年度</td><td>H25年度</td><td>H26年度</td><td>H27年度</td></tr><tr><td>目標</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績</td><td></td><td></td><td>平成26年5月末開設・設置</td><td>ボランティア通信年3回発行</td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標					実績			平成26年5月末開設・設置	ボランティア通信年3回発行	<table><tr><td>☐ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>☐ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td></tr><tr><td>☒ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td></tr><tr><td>☐ (D)</td><td>目標達成に遅滞状況が停滞している</td></tr><tr><td>☐ (E)</td><td>実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	☐ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☒ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している	☐ (E)	実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・情報発信のためにボランティアセンター掲示板の設置や社協ホームページにボランティア情報コーナーを開設したが、タイムリーな情報提供が出来なかった。 ・今後も継続して、ボランティア活動に関する情報を「社協ホームページ」や「社協により」「ボランティアセンター」等を活用して情報提供に努める。また、社協以外で行われるイベント等を活用して情報発信に努める。	□A 良好である ☒ B 概ね良好である □C 努力を要する □D 廃止・休止
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																										
目標																														
実績			平成26年5月末開設・設置	ボランティア通信年3回発行																										
☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																													
☐ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している																													
☒ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)																													
☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している																													
☐ (E)	実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																													
④ ボランティア活動の促進に関する情報の提供	・地域や社会福祉施設等が求めるボランティアニーズを段階的に調査し把握するとともに、新たなボランティアの発掘に努めます。	<table><tr><td></td><td>H24年度</td><td>H25年度</td><td>H26年度</td><td>H27年度</td></tr><tr><td>目標</td><td>40施設</td><td>40施設</td><td>40施設</td><td>40施設</td></tr><tr><td>実績</td><td>45施設と42校</td><td>39施設</td><td>51施設</td><td>個人V登録者154名と団体34団体</td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標	40施設	40施設	40施設	40施設	実績	45施設と42校	39施設	51施設	個人V登録者154名と団体34団体	<table><tr><td>☐ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>☐ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td></tr><tr><td>☒ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td></tr><tr><td>☐ (D)</td><td>目標達成に遅滞状況が停滞している</td></tr><tr><td>☐ (E)</td><td>実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	☐ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☒ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している	☐ (E)	実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・ボランティアニーズの把握が十分出来なかった。	□A 良好である ☒ B 概ね良好である □C 努力を要する
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																										
目標	40施設	40施設	40施設	40施設																										
実績	45施設と42校	39施設	51施設	個人V登録者154名と団体34団体																										
☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																													
☐ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している																													
☒ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)																													
☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している																													
☐ (E)	実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																													
⑤ ボランティアバンクの整備	市民のボランティアニーズに対し、適材適所にボランティアを派遣するため、ボランティアバンクの整備に努めます。	<table><tr><td></td><td>H24年度</td><td>H25年度</td><td>H26年度</td><td>H27年度</td></tr><tr><td>目標</td><td>団体35団体：個人100人</td><td>団体35団体：個人100人</td><td>団体35団体：個人100人</td><td>団体35団体：個人100人</td></tr><tr><td>実績</td><td>団体28団体：個人86人</td><td>団体32団体：個人116人</td><td>団体34団体：個人148人</td><td>団体34団体：個人155人</td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標	団体35団体：個人100人	団体35団体：個人100人	団体35団体：個人100人	団体35団体：個人100人	実績	団体28団体：個人86人	団体32団体：個人116人	団体34団体：個人148人	団体34団体：個人155人	<table><tr><td>☐ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>☒ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td></tr><tr><td>☐ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td></tr><tr><td>☐ (D)</td><td>目標達成に遅滞状況が停滞している</td></tr><tr><td>☐ (E)</td><td>実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している	☐ (E)	実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・ボランティア登録団体の理解を得て、社協ホームページを活用して、登録状況の発信に努める。 ・特になし	□A 良好である ☒ B 概ね良好である □C 努力を要する
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																										
目標	団体35団体：個人100人	団体35団体：個人100人	団体35団体：個人100人	団体35団体：個人100人																										
実績	団体28団体：個人86人	団体32団体：個人116人	団体34団体：個人148人	団体34団体：個人155人																										
☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																													
☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している																													
☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)																													
☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している																													
☐ (E)	実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																													
⑥ ボランティア活動の支援	ボランティア活動に安心して取り組めるよう総合的な支援に努めます。	<table><tr><td></td><td>H24年度</td><td>H25年度</td><td>H26年度</td><td>H27年度</td></tr><tr><td>目標</td><td>950人</td><td>950人</td><td>980人</td><td>980人</td></tr><tr><td>実績</td><td>助成人数491人</td><td>助成人数968人</td><td>助成人数1,042人</td><td>助成人数1,110人</td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標	950人	950人	980人	980人	実績	助成人数491人	助成人数968人	助成人数1,042人	助成人数1,110人	<table><tr><td>☐ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>☒ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td></tr><tr><td>☐ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td></tr><tr><td>☐ (D)</td><td>目標達成に遅滞状況が停滞している</td></tr><tr><td>☐ (E)</td><td>実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している	☐ (E)	実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・今後もボランティア活動を安心して取り組めるよう、話し合いや作業に必要な場所の提供及び「社協により」「社協ホームページ」や「社協ホームページ」の活用、並びにイベント等で、ボランティア活動の促進に努める。 ・特になし	□A 良好である ☒ B 概ね良好である □C 努力を要する
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																										
目標	950人	950人	980人	980人																										
実績	助成人数491人	助成人数968人	助成人数1,042人	助成人数1,110人																										
☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																													
☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している																													
☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)																													
☐ (D)	目標達成に遅滞状況が停滞している																													
☐ (E)	実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																													

(4) 高齢者元気度アップ地域活性化事業の実施

高齢者自身の健康づくりや社会参加、高齢者を含む任意の団体が行う地域貢献活動を促進し、介護予防の推進を図るとともに高齢者を地域全体で支える地域包括ケアの推進を図ります。

事業名		具体的な取り組み	事業実績					目標達成状況	課題	今後の事業活動方針	事業の評価									
			事業実績								評価	今後の方向性								
① 介護予防ボランティア事業	要介護認定を受け ない65歳以上の 高齢者が、介護 保険施設等にお けるボランティア 活動を推進し、 ちっつ高齢者の健 康維持や介護予 防、社会参加の促 進を図ります。	・地域に出向き事業の周 知を図ります。 ・福祉関係機関・団体等 と連携して事業の周知を 図ります。 ・年1回登録者に対し 「フォローアップ研 修会」を開催します。	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	<table><tr><td>☐ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>☒ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td></tr><tr><td>☐ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td></tr><tr><td>☐ (D)</td><td>目標達成に進捗状況が停滞している</td></tr><tr><td>☐ (E)</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐ (D)	目標達成に進捗状況が停滞している	☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・登録者数に対し、活動者数が少ない。	・ボランティア活動に安心して取り組めるよう援助を上行い、登録者の活動率を上げられるよう支援する。	☐ A 良好である ☒ B 概ね良好である ☐ C 努力を要する ☐ A 充実 ☒ B 継続 ☐ C 縮小 ☐ D 廃止・休止
			☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																
☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している																			
☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)																			
☐ (D)	目標達成に進捗状況が停滞している																			
☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																			
② 高齢者を含む任意のグループが行う、地域における互助活動を促進し、高齢者を地域全体で支える地域包括ケアを推進します。	・地域に出向き事業の周知を図ります。 ・福祉関係機関・団体等と連携して事業の周知を図ります。 ・年2回(ポイント換金時)登録グループを対象とした連絡会を開催します。	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	<table><tr><td>☐ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>☒ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td></tr><tr><td>☐ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td></tr><tr><td>☐ (D)</td><td>目標達成に進捗状況が停滞している</td></tr><tr><td>☐ (E)</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐ (D)	目標達成に進捗状況が停滞している	☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・地域に活動している団体の掘り起こしが充分出来ていない。	・市や地域包括支援センター等と連携して周知に努める。	☐ A 良好である ☒ B 概ね良好である ☐ C 努力を要する ☐ A 充実 ☒ B 継続 ☐ C 縮小 ☐ D 廃止・休止	
☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																			
☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進展している																			
☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしを含む)																			
☐ (D)	目標達成に進捗状況が停滞している																			
☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																			

(5) 災害におけるボランティア活動の啓発

大規模災害等が発生した際に、迅速かつ効率的に活動を実践できるボランティアセンター設置に係る訓練等を行います。

事業名	具体的な取り組み	事業実績					目標達成状況	課題	今後の事業活動方針	事業の評価										
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度					評価	今後の方向性									
大規模災害等が発生した際に、迅速かつ効率的に活動できるボランティアの育成や災害ボランティアセンター設置に係る訓練等を行います。	・災害ボランティア養成のための災害ボランティア養成講座を実施します。 ・ボランティア連絡協議会等と協力し、災害支援のネットワークづくりに努めます。 ・社協が作成した「災害救援ボランティアマニュアル」の点検を行い、必要に感じ見直しを行います。	・防災訓練 ・練習3回参加 ・運用訓練 ・練習1回実施 実績	・防災訓練 ・練習2回参加 ・運用訓練 ・練習1回実施 ・協定締結	・防災訓練 ・練習2回参加 ・運用訓練 ・練習1回実施	・防災訓練 ・練習2回参加 ・運用訓練 ・練習1回実施	<table><tr><td>☐</td><td>(A)</td></tr><tr><td>☒</td><td>(B)</td></tr><tr><td>☐</td><td>(C)</td></tr><tr><td>☐</td><td>(D)</td></tr><tr><td>☐</td><td>(E)</td></tr></table>	☐	(A)	☒	(B)	☐	(C)	☐	(D)	☐	(E)	目標達成に向けて大きく進展している 目標達成に向けて概ね順調に進捗している 目標維持(現状維持でやむなしを含む) 目標達成に進捗状況が停滞している 実施状況が悪化し、大規模な改善が必要である(事業廃止等)	・特になし	・鹿屋で災害が起こった場合、すばやい対応が出来るよう、今後も災害ボランティアセンター設置・運用訓練等の実施や行政及び関係団体との連携に努める。また、マニュアルについても随時見直しを行っていき	☐A 良好である ☒B 概ね良好である ☐C 努力を要する ☐A 充実 ☒B 継続 ☐C 縮小 ☐D 廃止・休止
☐	(A)																			
☒	(B)																			
☐	(C)																			
☐	(D)																			
☐	(E)																			
災害におけるボランティア活動の啓発																				

3 広報啓発活動等の充実

(1) 福祉に関する情報提供や情報収集及び社協事業活動の広報

地域の課題や社会資源、活動のノウハウなど、地域で必要とされる情報を提供します。また、情報収集の強化を図ります。併せて、社協が取り組んでいる事業や活動を広く市民に紹介します。

事業名		事業実績				目標達成状況		課題	今後の事業活動方針	事業の評価	
										評価	今後の方向性
① 広報紙「社協だより」の発行	社協の事業活動の紹介や、地域での福祉活動に関する情報等を掲載し、市民に分かりやすい広報紙づくりを目指します。	事業実績				目標達成状況		・社協が実施する事業を効果的に広報する必要がある。	・市民に分かりやすいレイアウトの工夫や表現に気をつけ、また、市民の意見を取り入れらるよう親しみのもてる広報紙づくりに努める。	□A 良好である ■B 概ね良好である。 □C 努力を要する。	□A 充実 ■B 継続 □C 縮小 □D 廃止・休止
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	□ [A] ■ [B] □ [C] □ [D] □ [E]	目標達成に向けて大きく進展している 目標達成に向けて概ね順調に進んでいる 現状維持(現状維持でやむなしも含む) 目標達成に進捗状況が停滞している 実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)				
② 福祉協会のホームページによる情報提供	社協の事業活動の紹介や、地域での福祉活動に関する情報等を掲載し、市民に分かりやすいホームページを目指します。	事業実績				目標達成状況		・社協事業等の一部の情報がタイムリーに提供できなかった。	・社協が実施している事業の最新情報を提供できるように努め、フェイスブック等の活用を進める。	□A 良好である ■B 概ね良好である。 □C 努力を要する。	□A 充実 ■B 継続 □C 縮小 □D 廃止・休止
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	□ [A] ■ [B] □ [C] □ [D] □ [E]	目標達成に向けて大きく進展している 目標達成に向けて概ね順調に進んでいる 現状維持(現状維持でやむなしも含む) 目標達成に進捗状況が停滞している 実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)				
③ 福祉情報配信事業の実施	かのや子育て情報配信事業を拡充し、福祉イベントやボランティア情報、子育て情報など福祉に関する情報の提供に努めます。	事業実績				目標達成状況		・配信する内容が決まってきた。 ・目標の登録件数に達していない。	・これまで配信内容にこだわらず、社協やまだ関係福祉団体が行う事業(イベント等)を情報配信できるように努める。 ・チラシ、ポスター・社協だより等、あらゆる広報媒体を使って周知に努め、各関係機関の会合等でもPRする。	□A 良好である ■B 概ね良好である。 □C 努力を要する。	□A 充実 ■B 継続 □C 縮小 □D 廃止・休止
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	□ [A] □ [B] ■ [C] □ [D] □ [E]	目標達成に向けて大きく進展している 目標達成に向けて概ね順調に進んでいる 現状維持(現状維持でやむなしも含む) 目標達成に進捗状況が停滞している 実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)				
④ 福祉モニターの配置	社協事業について、市民の意見や要望等の情報収集に努め、今後の活動に反映させていきます。	事業実績				目標達成状況		・福祉モニター(民生委員)からの意見が当初と比べて少なくなってきた。	・今後も各地区民生委員児童委員協議会の定例会やモニター会議等で、情報収集への協力を依頼していく。	□A 良好である ■B 概ね良好である。 □C 努力を要する。	□A 充実 ■B 継続 □C 縮小 □D 廃止・休止
		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	□ [A] ■ [B] □ [C] □ [D] □ [E]	目標達成に向けて大きく進展している 目標達成に向けて概ね順調に進んでいる 現状維持(現状維持でやむなしも含む) 目標達成に進捗状況が停滞している 実施状況が悪くなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)				

取⑤ 民生委員・児童委員や関係機関・団体等からの情報収集に努めます。	・町内会や町内会連絡協議会からの情報収集に努めます。 ・地域の民生委員・児童委員からの情報収集に努めます。 ・行政機関をはじめ、あらゆる関係機関・団体等からの情報収集に努めます。	<table><tr><th></th><th>H24年度</th><th>H25年度</th><th>H26年度</th><th>H27年度</th></tr><tr><td>目標</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績</td><td>・町連及び民協に関する情報収集 ・関係機関・団体等に関する情報収集</td><td>・関係機関及び団体の会等に出席し情報収集を行った。</td><td></td><td></td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標					実績	・町連及び民協に関する情報収集 ・関係機関・団体等に関する情報収集	・関係機関及び団体の会等に出席し情報収集を行った。			<table><tr><td>□【A】</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>■【B】</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進んでいる</td></tr><tr><td>□【C】</td><td>現状維持(現状維持でやむなしも含む)</td></tr><tr><td>□【D】</td><td>目標達成に進捗状況が停滞している</td></tr><tr><td>□【E】</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	□【A】	目標達成に向けて大きく進展している	■【B】	目標達成に向けて概ね順調に進んでいる	□【C】	現状維持(現状維持でやむなしも含む)	□【D】	目標達成に進捗状況が停滞している	□【E】	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・特になし	・今後も地域で得た情報については、職員間で共有を図り地域に返していく。
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																										
目標																														
実績	・町連及び民協に関する情報収集 ・関係機関・団体等に関する情報収集	・関係機関及び団体の会等に出席し情報収集を行った。																												
□【A】	目標達成に向けて大きく進展している																													
■【B】	目標達成に向けて概ね順調に進んでいる																													
□【C】	現状維持(現状維持でやむなしも含む)																													
□【D】	目標達成に進捗状況が停滞している																													
□【E】	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																													
⑥ 社協の事業内容等を記載したパンフレットを発行し社協事業活動の周知を図ります。	・町内会長や地域の民生委員・児童委員、関係機関・団体等への周知に努めます。 ・パンフレットの点検を行い、必要に応じて見直しを行います。	<table><tr><th></th><th>H24年度</th><th>H25年度</th><th>H26年度</th><th>H27年度</th></tr><tr><td>目標</td><td>1,000部発行</td><td>1,000部発行</td><td>1,000部発行</td><td></td></tr><tr><td>実績</td><td>事業追加・廃止による改版 (1,000部発行)</td><td>事業追加・廃止による改版 (1,000部発行)</td><td>事業追加・廃止による改版 (1,000部発行)</td><td></td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標	1,000部発行	1,000部発行	1,000部発行		実績	事業追加・廃止による改版 (1,000部発行)	事業追加・廃止による改版 (1,000部発行)	事業追加・廃止による改版 (1,000部発行)		<table><tr><td>□【A】</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>□【B】</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進んでいる</td></tr><tr><td>■【C】</td><td>現状維持(現状維持でやむなしも含む)</td></tr><tr><td>□【D】</td><td>目標達成に進捗状況が停滞している</td></tr><tr><td>□【E】</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	□【A】	目標達成に向けて大きく進展している	□【B】	目標達成に向けて概ね順調に進んでいる	■【C】	現状維持(現状維持でやむなしも含む)	□【D】	目標達成に進捗状況が停滞している	□【E】	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・パンフレットの初版から5年以上が経過しており改訂がされていない。 ・他社協の取り組みを参考に、現在の事業内容に沿ったものを作成し、社協事業活動の周知を図る。	
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																										
目標	1,000部発行	1,000部発行	1,000部発行																											
実績	事業追加・廃止による改版 (1,000部発行)	事業追加・廃止による改版 (1,000部発行)	事業追加・廃止による改版 (1,000部発行)																											
□【A】	目標達成に向けて大きく進展している																													
□【B】	目標達成に向けて概ね順調に進んでいる																													
■【C】	現状維持(現状維持でやむなしも含む)																													
□【D】	目標達成に進捗状況が停滞している																													
□【E】	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																													
⑦ 社協事業活動紹介のパネル展示	・市役所ロビーやリナシティなどのや等を活用してパネル展示を行います。	<table><tr><th></th><th>H24年度</th><th>H25年度</th><th>H26年度</th><th>H27年度</th></tr><tr><td>目標</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績</td><td>年4回</td><td>年4回</td><td>年5回</td><td>年3回</td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標					実績	年4回	年4回	年5回	年3回	<table><tr><td>□【A】</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>■【B】</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進んでいる</td></tr><tr><td>□【C】</td><td>現状維持(現状維持でやむなしも含む)</td></tr><tr><td>□【D】</td><td>目標達成に進捗状況が停滞している</td></tr><tr><td>□【E】</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	□【A】	目標達成に向けて大きく進展している	■【B】	目標達成に向けて概ね順調に進んでいる	□【C】	現状維持(現状維持でやむなしも含む)	□【D】	目標達成に進捗状況が停滞している	□【E】	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・主に公共施設のみでのパネル展示となっている。 ・市民が多く集まるイベントや商業施設等も含めて実施することができないか検討する。	
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																										
目標																														
実績	年4回	年4回	年5回	年3回																										
□【A】	目標達成に向けて大きく進展している																													
■【B】	目標達成に向けて概ね順調に進んでいる																													
□【C】	現状維持(現状維持でやむなしも含む)																													
□【D】	目標達成に進捗状況が停滞している																													
□【E】	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																													

(2) 福祉関係機関・団体等との連携強化
地域住民をはじめ福祉関係機関・団体などのネットワークの強化に努めます。

事業名	具体的な取り組み	事業実績				目標達成状況	課題	今後の事業活動方針	事業の評価																			
			H24年度	H25年度	H26年度				H27年度	評価	今後の方向性																	
福祉関係機関・団体等との連携強化	・福祉関係機関・団体等との意見交換会を実施します。 ・町内会及び町内会連絡協議会との連携に努めます。 ・民生委員・児童委員協議会との連携に努めます。 ・福祉関係機関・団体等との連携に努めます。	目標				H27年度	<table><tr><td>☐ (A)</td><td>目標達成に向けて大きく進展している</td></tr><tr><td>☒ (B)</td><td>目標達成に向けて概ね順調に進んでいる</td></tr><tr><td>☐ (C)</td><td>現状維持(現状維持でやむなしも含む)</td></tr><tr><td>☐ (D)</td><td>目標達成に進捗状況が停滞している</td></tr><tr><td>☐ (E)</td><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td></tr></table>	☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している	☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進んでいる	☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしも含む)	☐ (D)	目標達成に進捗状況が停滞している	☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	・特になし	・関係機関団体と連携を図り、引き続きネットワークの強化に努める。	<table><tr><td>☐ A</td><td>充実</td></tr><tr><td>☒ B</td><td>継続</td></tr><tr><td>☐ C</td><td>縮小</td></tr><tr><td>☐ D</td><td>廃止・休止</td></tr></table>	☐ A	充実	☒ B	継続	☐ C	縮小	☐ D	廃止・休止
☐ (A)	目標達成に向けて大きく進展している																											
☒ (B)	目標達成に向けて概ね順調に進んでいる																											
☐ (C)	現状維持(現状維持でやむなしも含む)																											
☐ (D)	目標達成に進捗状況が停滞している																											
☐ (E)	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)																											
☐ A	充実																											
☒ B	継続																											
☐ C	縮小																											
☐ D	廃止・休止																											

はじめに

鹿屋市社会福祉協議会では、「みんなでささえあい 笑顔あふれるまちづくり」を基本理念とした鹿屋市地域福祉活動計画を平成 23 年度に策定し、平成 24 年度から 5 か年計画に基づき地域福祉活動の推進に取り組んできました。この計画年度が今年度の平成 28 年度で終了しますので新たな第 2 期計画を策定するため、住民アンケート調査や住民座談会などのご意見等を踏まえ、平成 29 年度から平成 34 年度までの 6 か年計画を策定しました。



少子高齢化や核家族化の進行は著しく、地域コミュニティの弱体化や家族構造の変化により、地域での助け合い支え合い活動や相互扶助機能が希薄化し、地域が抱える課題は多様化してきています。このような現状の中で孤独・孤立死や引きこもり、経済的な困窮者など、地域における生活課題は多岐にわたってきています。鹿屋市では平成 27 年度に生活困窮者自立支援制度が創設され支援事業が推進されています。また、団塊の世代が 75 歳となる 2025 年を目途に、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる事業が進められており、社会福祉協議会もこの事業の一翼を担ってまいります。

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、これまでも地域福祉活動を始めボランティア活動の推進、高齢者、障がい者支援、子育て支援、低所得者支援、成年後見人制度事業など福祉事業の推進に取り組んでいるところです。急激な地域社会の変化に対応するためにも、今後も行政をはじめ町内会、民生委員・児童委員、社会福祉関係機関団体などと連携をさらに深め、地域に根ざした福祉活動に役職員一丸となって取り組んでまいります。

終わりに、第 2 期鹿屋市地域福祉活動計画策定にご協力賜りました関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成 29 年 3 月

社会福祉法人
鹿屋市社会福祉協議会
会 長 浜 田 保

収⑤ 民生委員・児童委員や関係機関・団体等からの情報収集に努めます。	・町内会や町内会連絡協議会からの情報収集に努めます。 ・地域の民生委員・児童委員からの情報収集に努めます。 ・行政機関をはじめ、あらゆる関係機関・団体等からの情報収集に努めます。	<table><tr><th></th><th>H24年度</th><th>H25年度</th><th>H26年度</th><th>H27年度</th></tr><tr><td>目標</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績</td><td>・町連及び民協に関する情報収集 ・関係機関・団体等に関する情報収集</td><td>・関係機関及び団体の会合等に出席し情報収集を行った。</td><td></td><td></td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標					実績	・町連及び民協に関する情報収集 ・関係機関・団体等に関する情報収集	・関係機関及び団体の会合等に出席し情報収集を行った。			<table><tr><th></th><th>【A】</th><th>【B】</th><th>【C】</th><th>【D】</th><th>【E】</th></tr><tr><td>目標達成に向けて大きく進展している</td><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td><td>☒</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>目標達成に進行状況が停滞している</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr></table>		【A】	【B】	【C】	【D】	【E】	目標達成に向けて大きく進展している	☐	☒	☐	☐	☐	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☒	☐	☐	☐	☐	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐	☐	☐	☐	☐	目標達成に進行状況が停滞している	☐	☐	☐	☐	☐	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	☐	☐	☐	☐	☐	・特になし	・今後も地域で得た情報については、職員間で共有を図り地域に返していく。
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																																																				
目標																																																								
実績	・町連及び民協に関する情報収集 ・関係機関・団体等に関する情報収集	・関係機関及び団体の会合等に出席し情報収集を行った。																																																						
	【A】	【B】	【C】	【D】	【E】																																																			
目標達成に向けて大きく進展している	☐	☒	☐	☐	☐																																																			
目標達成に向けて概ね順調に進展している	☒	☐	☐	☐	☐																																																			
現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐	☐	☐	☐	☐																																																			
目標達成に進行状況が停滞している	☐	☐	☐	☐	☐																																																			
実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	☐	☐	☐	☐	☐																																																			
⑥ 社協の事業内容等を記載したパンフレットを発行し社協事業活動の周知を図ります。	・町内会長や地域の民生委員・児童委員、関係機関・団体等への周知に努めます。 ・パンフレットの点検を行い、必要に応じて見直しを行います。	<table><tr><th></th><th>H24年度</th><th>H25年度</th><th>H26年度</th><th>H27年度</th></tr><tr><td>目標</td><td>1,000部発行</td><td>1,000部発行</td><td>1,000部発行</td><td></td></tr><tr><td>実績</td><td>事業追加・廃止による改版(1,000部発行)</td><td>事業追加・廃止による改版(1,000部発行)</td><td>事業追加・廃止による改版(1,000部発行)</td><td></td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標	1,000部発行	1,000部発行	1,000部発行		実績	事業追加・廃止による改版(1,000部発行)	事業追加・廃止による改版(1,000部発行)	事業追加・廃止による改版(1,000部発行)		<table><tr><th></th><th>【A】</th><th>【B】</th><th>【C】</th><th>【D】</th><th>【E】</th></tr><tr><td>目標達成に向けて大きく進展している</td><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>目標達成に進行状況が停滞している</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr></table>		【A】	【B】	【C】	【D】	【E】	目標達成に向けて大きく進展している	☐	☒	☐	☐	☐	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☐	☐	☐	☐	☐	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐	☐	☐	☐	☐	目標達成に進行状況が停滞している	☐	☐	☐	☐	☐	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	☐	☐	☐	☐	☐	・パンフレットの初版から5年以上が経過しており改訂がされていない。	・他社協の取組の組みを参考に、現在の事業内容に沿ったものを作成し、社協事業活動の周知を図る。
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																																																				
目標	1,000部発行	1,000部発行	1,000部発行																																																					
実績	事業追加・廃止による改版(1,000部発行)	事業追加・廃止による改版(1,000部発行)	事業追加・廃止による改版(1,000部発行)																																																					
	【A】	【B】	【C】	【D】	【E】																																																			
目標達成に向けて大きく進展している	☐	☒	☐	☐	☐																																																			
目標達成に向けて概ね順調に進展している	☐	☐	☐	☐	☐																																																			
現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐	☐	☐	☐	☐																																																			
目標達成に進行状況が停滞している	☐	☐	☐	☐	☐																																																			
実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	☐	☐	☐	☐	☐																																																			
⑦ 社協事業活動を紹介するためパネル展示を行い、社協事業活動の周知を図ります。	・市役所ロビーやリナシティかのや等を活用してパネル展示を行い、社協事業活動の周知を図ります。	<table><tr><th></th><th>H24年度</th><th>H25年度</th><th>H26年度</th><th>H27年度</th></tr><tr><td>目標</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>実績</td><td>年4回</td><td>年4回</td><td>年5回</td><td>年3回</td></tr></table>		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	目標					実績	年4回	年4回	年5回	年3回	<table><tr><th></th><th>【A】</th><th>【B】</th><th>【C】</th><th>【D】</th><th>【E】</th></tr><tr><td>目標達成に向けて大きく進展している</td><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>目標達成に向けて概ね順調に進展している</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>現状維持(現状維持でやむなしを含む)</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>目標達成に進行状況が停滞している</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><td>実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr></table>		【A】	【B】	【C】	【D】	【E】	目標達成に向けて大きく進展している	☐	☒	☐	☐	☐	目標達成に向けて概ね順調に進展している	☐	☐	☐	☐	☐	現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐	☐	☐	☐	☐	目標達成に進行状況が停滞している	☐	☐	☐	☐	☐	実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	☐	☐	☐	☐	☐	・主に公共施設のためのパネル展示となっている。	・市民が多く集まるイベントや商業施設等も含めて実施することができないか検討する。
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度																																																				
目標																																																								
実績	年4回	年4回	年5回	年3回																																																				
	【A】	【B】	【C】	【D】	【E】																																																			
目標達成に向けて大きく進展している	☐	☒	☐	☐	☐																																																			
目標達成に向けて概ね順調に進展している	☐	☐	☐	☐	☐																																																			
現状維持(現状維持でやむなしを含む)	☐	☐	☐	☐	☐																																																			
目標達成に進行状況が停滞している	☐	☐	☐	☐	☐																																																			
実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	☐	☐	☐	☐	☐																																																			

(2) 福祉関係機関・団体等との連携強化
地域住民をはじめ福祉関係機関・団体などのネットワークの強化に努めます。

事業名	具体的な取り組み	事業実績					目標達成状況		課題	今後の事業活動方針	事業の評価	
			H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	☐【A】 ☒【B】 ☐【C】 ☐【D】 ☐【E】 目標達成に向けて大きく進展している 目標達成に向けて概ね順調に進んでいる 現状維持(現状維持でやむなしも含む) 目標達成に進行状況が停滞している 実施状況が著しくなく、大きな改善が必要である(事業廃止等)	評価			今後の方向性	
福祉関係機関・団体等との連携強化	地域住民をはじめ福祉関係機関・団体などとのネットワークの強化に努めます。 ・福祉の関係機関・団体等との連携に努めます。	目標	・町連及び民協に関する情報収集 ・関係機関・団体等に関する情報収集	・関係機関及び団体の会合等に出席し、情報収集と合わせ、相互の連携強化に努めた。		H27年度	☐A 充実 ☒B 継続 ☐C 縮小 ☐D 廃止・休止		・関係機関団体と連携を図り、引き続きネットワークの強化に努める。	☐A 良好である ☒B 概ね良好である。 ☐C 努力を要する。		

第 2 期 鹿屋市地域福祉活動計画

平成 29 年 3 月

社会福祉法人 鹿屋市社会福祉協議会

〒893-0009 鹿屋市大手町 1 番 1 号

TEL 0994-44-2951 FAX 0994-44-7757